

決算特別委員会審査から

神戸市は、震災後の大幅な職員削減に続き、「行財政改革2025」の中の事務事業の見直しで職員をさらに減らそうとしています。職員削減は市民サービスを低下させ、保健師数は政令市最低。コロナ禍で市民の命を守る体制を再構築せざるを得なくなりました。

そればかりか神戸市は国が色々な施策で増やそうとしている保育士も、保育所の統廃合を計画し、それにかこつけ、減らそうとしています。森本議員は「保育士など必要な人材を神戸市自らが職員削減のターゲットにせず、市民の命と生活

質疑項目

1. 「行財政改革2025」による職員削減について
2. 神戸市の会計年度職員の正規化について
3. 財源の使い方について
4. 交通局と水道局の値上げについて
5. 認知症神戸モデルについて
6. 区役所政策について

を守るために必要な人材はきっちり採るべきだ」と質しました。

答弁ダイジェスト

島担当局長：こども家庭局と協議しながら、最適な職員体制を検討していく。

森本議員：阪神・淡路大震災のような災害時に、市職員が主力となって市民の

9月25日

職員削減やめよ 行財政局審査で森本議員



質問する森本真議員

財産と命を守るためにも、削減ありきの行財政改革、事務事業の見直しはやめるべきだ。

9月25日

CO₂削減にしっかり取り組む よう市内企業に働きかけよ 環境局審査で赤田議員



質問する赤田かつり議員

環境保全は地球上の生態系のバランスを保ち、将来の世代に美しい環境を引き継ぐための重要な取り組みです。国連の事務総長は11月に行われるCOP28(国連気候変動枠組条約第28回締約国会議)にむけて地球温暖化ガス排出ゼロ、石炭火力からの撤退を呼びかけています。地球温暖化対策はまさに本気の取り組みが求められる喫緊の課題です。赤田議員は「地球温暖化ガス排出量813万5000tのう

1. 気候危機、生物多様性等、環境保全について
2. ゴミ対策について
3. PFAS汚染について

質疑項目

ち、家庭部門からの排出は161万4000t、全体の19.8%だ。これを減らすのは大事だが、産業、業務、運輸部門など企業からの排出が圧倒的に多い。CO₂削減にしっかり取り組むよう市内企業に働きかけるべき」と質しました。

また、「神戸市は2030年までに60%のCO₂削減目標を掲げているにもかかわらず、CO₂を大量放出する神戸製鋼所の3、4号機増設を認める、水素スマートシティ構想を主要施策にするなど、削減目標と矛盾するのではないかと厳しく批判しました。

答弁ダイジェスト

赤田議員：神戸製鋼の環境保全協定書をみたが、2021年に3号機が増設されたことにより2020年度より二酸化炭素の排出量が18万1000t増えている。さらに4号機の運転開始で大量放出されているの

を市が認めるのはCO₂の60%削減目標と明らかに矛盾しないか。

藤井副局長：発電所CO₂はあくまで電力を発電するために排出しているもの。神戸市のCO₂排出量を換算するのは自家消費の部分で全てが神戸市域のCO₂に換算されるわけではない。排出量をすべて容認しているかは別問題だ。

赤田議員：容認しているわけでないというが、市内の企業がCO₂削減を明らかにしているのだから、しっかり指導するのは環境局の責任ではないか。

9月26日

市立大学の入学金・ 授業料無償化を 企画調整局審査で前田議員



質問する前田あきら議員

質疑項目

1. 神戸空港への市税投入撤回について
2. 外国語大学の学費無償について
3. マイナンバーカードについて
4. 医療産業都市へについて

物価高騰の影響で、アルバイトをしながら暮らす学生の生活はますます苦しくなっています。いまこそ、学生の学ぶ権利を保障するため、大学の学費、入学金の無償化が求められています。神戸外国

語大学では、3400万円の支援で入学金が、1億8200万円の支援で授業料が無償化できます。

前田議員は市立看護大学が入学金を半額に引き下げ、さらに、市内で3年従事すれば実質無料となる取り組みをしてい

9月26日

ウォーターフロント 過剰な投資やめて、 良き神戸港の情景残せ 港湾局審査で松本議員



質問する松本のり子議員

神戸市は、ハーバーランドのモザイク1階の高浜岸壁と中突堤を結ぶ橋梁整備や、京橋の船だまりの埋め立ての検討をしています。高浜岸壁にはすでに中突堤ターミナル（かもめりあ）に行く道が2か所あります。京橋の船だまりにも道が

兵庫区の運河にかかる住吉橋は運南地域と中・北部を結ぶ主要な橋で通勤、通学、買い物など多くの人々が利用しています。橋の横に北側歩道橋、南側歩道橋、螺旋状のスロープがありますが、築51年で勾配率が10%ときつく、地域の方から架け替えを含めたバリアフリー化の改善を求める声が長年上がっています。大かわら議員は「車いすの方は通れないし、高齢の方は途中で休まれるほど大変な坂だ。バリアフリー化の観点からみても問題だ」と追及。住吉橋の架け替えや、横に歩行者用の新しい橋を架けるなど対策を求めました。

答弁ダイジェスト

原副局長：住吉橋は当時鉄道が走って

る事実を示し、「なぜ、同じ市立である外大にはできないのか。市長が記者会見で、人口減少の問題に触れ、若い世代が経済的な理由で結婚できない実態があると認め、賃上げ、若い世代の負担軽減の解消に取り組むべきだ、そして、それをあらゆるセクションが強い決意を持って臨んでいかなければ達成できないと言われた。企画調整局として、外国語大学として、この観点からも、学費の軽減、率先して取り組むべき」と質しました。

- 1. ウォーターフロントの不要な事業について
- 2. 六甲アイランドの港湾計画について
- 3. 神戸空港の機能拡張について

質疑項目

通っているのに埋め立てをしようとしています。松本議員は、全く予算もわからない過剰な整備は中止すべきと質しました。

答弁ダイジェスト

松木副局長：予算は検討が進んだ段階で示す。現時点では混乱をもたらす。

松本議員：モザイクからはすでに道が2か所あるのに、わざわざ橋をつくる必要があるのか。船だまりがある港は全国でも少なくなり、市民が神戸港を感じられるものだ。インバウンドのために計画を変えるのか。市民の意見を聞いたのか。

松木副局長：今後ポートタワーのリニ

- 1. 王子公園再整備計画について
- 2. 新神戸トンネル南伸事業について
- 3. 住吉橋（兵庫区）のバリアフリー化について
- 4. 公園トイレの改修について

いたことで高低差が大きい。これまで定期点検結果に基づき適切に補修している。今後も安全に利用できるのが現地点での架け替えは考えていない。バリアフリー化は主要駅周辺の重点地区から対応している。限られた財源の中、優先順位をつけながら実施していく。

大かわら議員：この橋は地域住民の日常になくてはならない橋だ。三宮再整備の一環である税関前の歩道橋は事業者が難しいと投げ出すような橋でも23億円も

答弁ダイジェスト

辻局長：若年者の経済的負担の軽減は政策トータルとして目指していくべきことだ。市立大学が果たすべき役割を踏まえて、検討していく必要がある。

前田議員：政治の責任で、若い世代の重い借金の荷を下ろして、神戸の未来を担っていただくようにするためにも、学費の引き下げ、入学金の減免、無償化をすべきだ。



ユーアルやアリーナが完成したら、埋め立てや橋梁整備は必要だ。市民意見募集をしたが否定的な意見はなかった。

松本議員：否定的な意見がないのは、ほとんどの市民がこの計画を知らないからだ。きちんと市民の意見を聞き、過剰な投資はやめるべきだ。

9月27日

急勾配の住吉橋は バリアフリー化を 建設局審査で大かわら議員



質問する大かわら鈴子議員

かけて観光客のために架け替える。これでは地域の皆さんは誰も納得しない。地域に密着した事業へきちんと軸足を変えるべきだ。

ぜひご視聴ください

森田たき子議員が一般質問

日時 10月24日(火) 14時20分頃から 場所 市議会本会議場

時間が前後する可能性がありますので、余裕をもってご覧ください。

インターネット中継をおこなっていますので、ぜひご利用ください。

ご視聴はこちらから→



決算特別委員会審査から②

市民の皆さんから「野菜が簡単に買えない」と切実な声が多く聞かれています。野菜高騰の原因は、この夏の異常気象に加え、農業資材・肥料などの高騰、農家の高齢化による生産力の後退が背景にあります。森田議員は「生産者の減少は、これまで国がおこなってきた輸入促進策と農業切り捨ての政策、さらに神戸市の政策の後退が要因だ」と厳しく批判し、国に支援を求めるとともに、神戸市でも価格保証、所得補償などの独自支援をすべきと求めました。

答弁ダイジェスト

椿野副局長：農業振興には国と県の事

- 1. 農業への支援強化について
- 2. みどりの食料システム戦略について
- 3. 中小企業支援について
—— 松本のり子議員
- 4. ファッション産業の活性化について
—— 松本のり子議員

業があり、市でも肥料や堆肥の支援をしている。後退していることはない。

森田議員：市は1974年から23年間、価格差補填をして神戸農業を応援してきたが廃止した。今同様の支援が求められているのではないかと。

安岡担当局長：単に廃止したのではなく、次のステップに入った。時代に合った支援をおこなっていきたい。

森田議員：食を支える農家の皆さんが意欲と誇りを持って続ける上で、価格保証と所得補償は決定的な条件だ。国に求

9月27日

市独自の支援強化で、『食』を支える農家の応援を 経済観光局審査で森田議員



質問する森田たき子議員

めるだけでなく、市独自の対策を強化すべきだ。

9月28日

男女間の賃金格差を解消する ために局は役割をはたせ 地域協働局審査で西議員



質問する西ただす議員

地域協働局は、企画調整局、行財政局の再編に伴い、今年度から新設されました。男女共同参画課を設置し、女性活躍の推進、地域コミュニティ施策、マイナンバーカードの普及、消費者トラブルへ

- 1. 区役所のアウトソーシング(外注)化について
- 2. 男女の賃金格差是正について
- 3. 六甲アイランドへの支所の設置について

質疑項目

の対応などを所管しています。過去30年に渡り自民党政権のもとで長期の経済停滞が続き、物価高によりさらに市民生活が追い込まれています。そのもとで、男女の賃金格差をなくすことは全体の賃金の引上げの上でも絶対に必要なことです。西議員は、正規雇用への転換を進める事業者への支援金制度の実施と、市が持つ保育士支援制度を女性の雇用が多い介護分野にも適用することを求めました。同時に、市の雇用形態自体が非正規雇用の増加につながっていると指摘し、局として男女の非正規雇用の比率はつかんでいるのか質しました。

答弁ダイジェスト

三和田部長：神戸市の雇用の男女比は委託事業についての把握は難しい。

西議員：非正規雇用で働く女性が多くなっているのはあきらかだ。女性の貧困や男女間の待遇面の格差の一因をつくってしまっている。地域協働局として待遇の改善、安定した雇用につなげるようにすべきだ。

9月28日

国保の独自控除を 継続して市民を守れ 福祉局審査で大かわら議員



質問する大かわら鈴子議員

神戸市は、高すぎる国民健康保険料の負担を軽減するため、神戸市独自の軽減策をとってきました。ところが2027年に保険料水準の統一化を図るためとして市町村単位から都道府県単位に変更、それに伴い独自控除の廃止が検討されています。現在独自控除を受けている世帯は2万233世帯で、廃止すると平均約4万～

- 1. 国保の独自控除継続について
- 2. コロナ特例貸付について
- 3. 訪問介護員のハラスメント対策について
- 4. パートナースHIP制度について

6万円の負担増になります。大かわら議員は「物価高騰や公共料金の値上げ予定(2面につづく)

など生活が苦しくなっているのに、これ以上負担が増えれば暮らしが破たんする」と迫り、独自控除を継続するよう求めました。

答弁ダイジェスト

大かわら議員：激変緩和があると言わ

9月29日

JR須磨駅に スーパー誘致を 都市局審査で前田議員



質問する前田あきら議員

JR須磨駅は快速電車も停車する駅ですが、昨年トーホーが撤退したことにより、日用品を購入できる店がなくなりま

北区有野町有野の地域で事業者の違法な盛土による土砂が大雨等により住宅地域に流れ込む恐れがあることが分かりました。神戸市は再三事業者に撤去を求めましたが未だ応じていません。今年8月の台風7号では早めの避難を呼びかける「警戒レベル4」の避難指示が出されました。朝倉議員は「2021年に静岡県熱海市で発生した大規模土石流被害は違法な盛土の崩落による人災だった。その時に全国で盛土総点検をし、今回の違法が分かったのだから、危機管理として所管の環境局に土砂を一刻も早く取り除くよう、もっと積極的に指示をだすべきだったのでは」と質しました。また住民の皆さんに必要な情報を迅速に出し、被害を起こさないための緊急の対策を講じるよう求めました。

答弁ダイジェスト

れたが、段階的にあがっていく。今まで控除を受けるぐらい大変だった方だ。目の前は少しマシになるけど結局は負担が増えることになる。厚労省は都道府県化実施後も生活困窮者への自治体独自の軽減や一般会計からの繰り入れなどできると議会で答弁している。神戸市がちゃんと市民を守る立場に立つことが大事だ。

若杉副局長：まず県単位化という中で、県の中で統一的にどう判断していく

- 1. 王子公園再整備について
- 2. 新都市整備事業会計について
- 3. 駅前再整備について
- 4. 須磨駅前の商業施設の不足について
- 5. 都心・三宮の再整備について

質疑項目

した。神戸市は須磨駅の再整備をするという計画でアンケートを実施。2000件を超える回答があり、そこでも「若い人も年寄りも困っている。コンビニではなく、スーパーを今すぐに誘致してほしい」「スーパーがなくなり、私たち高齢者にとって陸の孤島だ」「JR須磨駅の南側にエレベーターがなく、バリアフリー化してほしい」という回答が多数ありました。前田議員は「トーホーが撤退して1年8ヵ月。アンケートの要望、周辺住民や利用者の切なる要望に応じて、再

か、現在県と様々な場で協議中だ。どういう措置を取るかというのは現段階で申し上げられない。

大かわら議員：国保は年金生活者や失業された方など本当に所得の低い方が入っておられる保険だ。所得は低いが保険料が一番高いという構造的な問題もある。独自控除を守る姿勢にたっていたきたい。

整備待ちにならずに速やかに対応を講じるべきだと質しました。

答弁ダイジェスト

小島副局長：住民の日常生活を支えるという観点から、今すぐは難しいが、須磨駅周辺の再整備の検討の中で、引き続き検討していきたい。

前田議員：再整備を待っていたらいつになるか分からない。直ちにやっていただきたい。

10月2日

被害を起こさないための 緊急の対策を 危機管理室・消防局審査で朝倉議員



質問する朝倉えつ子議員

影響及ぼす可能性があると分かった時点で速やかに説明した。

朝倉議員：危機管理室として危機意識が甘い。住民の方はこれがいつまで続くのか不安だ。住民に協力を仰ぐのだから代執行手続とかの状況も含めて住民の皆さんに随時知らせるべきだ。

危機管理室

- 1. 災害時の対応（北区有野町の盛り土問題）

消防局

- 1. 北区有野町の避難計画について
- 2. 消防指針について
- 3. 消防指令 三田市との共同運航について

朝倉議員：今年の7月に住民説明会をされたが、住民の方はその時に初めて知った、寝耳に水だと驚いた方がたくさんいる。環境局では2021年、危機管理室も2022年から把握されていたのであれば、もっと早く住民の方に知らせて共有すべきだったのではないか。

筒井危機管理監：言いたいことは一面分かる。中途半端な情報で住民の方に情報を流すのは不安をあおる問題もある。専門業者に調査委託して土石流が人家に

ぜひご視聴ください

森田たき子議員が一般質問

日時 10月24日(火) 14時20分頃から 場所 市議会本会議場

時間が前後する可能性がありますので、余裕をもってご覧ください。

インターネット中継をおこなっていますので、ぜひご利用ください。

ご視聴はこちらから→



経済の停滞と人口減少打開のため、 実質賃金の引き上げと社会保障の充実を！

10月10日に神戸市決算特別委員会がひらかれ、日本共産党神戸市議団の大かわら鈴子議員が総括質疑に登壇しました。

質疑項目

1. 人口減少対策と市民の実質賃金の引き上げについて
2. 公共施設の削減・縮小計画について

自民党政治のもとで30年もの長期にわたる経済の停滞と衰退により、暮らしの困難が続いています。そこへ物価高騰が襲いかかり、市民の生活に深刻な打撃となっています。久元市長は定例会見で人口減少問題に触れ、若い世代が結婚や子どもをもつことに踏み切れない実態があるのは「経済的理由」であると認め、実質賃金の引き上げや若い世代の負担軽減に取り組むべきと述べました。

しかし神戸市は、6000人を

超える非正規の市職員を固定化して正規職員増に背を向け、さらに、若い世代が望む大学の学費や学校給食の無償化にも後ろ向きな答弁に始終しました。

大かわら議員は、神戸経済を活性化させるためにも、政治の責任で賃金の引き上げと待遇改善をすること、社会保障の充実と教育費等の負担軽減など、市民の暮らしを守るための体制強化が必要だと質しました。

答弁ダイジェスト

大かわら議員：(実態は)非正規は事実上正規と同じ仕

事をしていても正規の給料の半分だ。行財政改革によるコスト削減のために安上がりな

人口減少を加速させる地域の 公共施設の切り捨てやめよ

久元市長は、人口減少を抑制する方策として、従来型の大型開発と呼び込み路線を継続・強化しています。同時に人口減少に適応するとして、神戸市独自に小学校区で1歳ごとに調査をおこない、市立の幼稚園、保育所、小・中学

校の統廃合など公共施設の廃止や市民サービスを切り捨てようとしています。大かわら議員は「これでは縮小ばかりが強調され、逆に人口減少を加速させてしまう」と指摘し、計画の見直しを求めました。

答弁ダイジェスト

小原副市長：予想を上回る

スピードで少子化が進んでいる。公立の統廃合を含めた需

大かわら議員が 総括質疑



労働力に傾き、児童相談所や保育所などの大切なところに非正規を配置しているのが現状だ。非正規を正規として採用すべきだ。

今西副市長：民間にも正規の職を増やしていただくよう要請しているが、家事・育児・介護と両立しやすい、自分の都合の良い時間に働きたいという割合が増えている。

大かわら議員：6000人の非正規の市職員のうち75%が女

性で、正規で働きたくても家事・育児・介護のために非正規を選ばざるを得ない。これはジェンダー平等の視点でも改革すべき問題だ。民間企業に要請しているなら、まず足元の市役所から変えていくべきだ。職員削減数が多いことを成果だと誇るようなやり方は正し、きちんと正規職員を配置して市民の暮らしが守れるように体制を強化すべきだ。

給調整をおこなうこととしている。

大かわら議員：公立幼稚園も減らし、各区1か所にすると何が起るのか。公立幼稚園の3分の1の子どもが特別な支援を必要としている。1か所に統廃合されたらその子どもたちは遠距離の通園を強いられることになる。

小原副市長：必要に応じた統廃合を進めていきたい。

大かわら議員：昨年神戸市がおこなったアンケートでは、神戸市に住み続けたくない理由として一番多かった回

答が「子育て・教育環境が良くないから」だ。すぐ近くに幼稚園や保育所、公共施設があり、そういった住みやすい地域をつくるのが大事だ。三宮再整備や神戸空港の国際化などの大型開発ばかりに市税を投入し、一方で公共料金などの市民負担が増えている。若い人たちにとって住みやすい地域をつくる取り組みこそ不転の決意で臨むべきだ。

決算特別委員会審査から③

今年6月、6歳の幼児が西区の草むらに遺棄されるという痛ましい事件が起きました。その後、議会で我が会派の質疑に対して、神戸市は「(こども家庭センターの)職員を大幅に増員してきた」「求められる専門知識を十分身につけ、幅広い相談に適切に対応できる体制を確保したい」と答弁しました。森田議員は、児童福祉司も児童心理士も正規職員で配置基準を満たしていないことと、区役所に対応を任せていることを厳しく批判し、こども家庭センターの体制を強化すべきと強く求めました。

答弁ダイジェスト

渋谷所長：夜間休日の緊急対応など、高度な専門性を必要とするものは正規職員が

質疑項目

1. こども家庭センターの体制強化について
 - ・職員体制について
 - ・一時保護所の民間委託について
2. 保育士の処遇改善について
—— 味口としゆき議員

対応し、そうではない場合は会計年度任用職員が担う。

森田議員：子どもの命が奪われたことを重く受け止め、少なくとも国の基準は正規職員で満たすべき。会計年度任用職員では簡単に十分なスキルは身につかない。夜間休日は正規職員が対応していると言うが、電話対応は民間業者だ。

渋谷所長：電話したら確かに業者につながるが、最終的には係長級の職員が対応する。

森田議員：以前、夜間に子どもを追い返

9月29日

子どもたちの命を守るための体制強化に背を向けるな
こども家庭局審査で森田議員



質問する森田たき子議員

した際にも、体制の脆弱さが明らかになった。子どもたちの命を守るためにも体制強化へ転換すべきだ。

10月2日

教職員数の抜本増と労働条件の改善早急に!!
教育委員会審査で味口議員



質問する味口としゆき議員

神戸市では、9月1日時点で、小学校で30人、中学校で12人の教員が不足していま

1. 教員不足と労働条件の改善について
2. 特別支援学級の改善について
3. 学校給食の無償化について

質疑項目

す。味口議員は、「担任が1人足りず、週2回の加配の教員で何とか回しているが、子育てしながらではゆとりがない。3か月まともな料理を作れていない。子どもが好きという気持ちだけでは続けられない」という教員の悲痛な声を紹介し、正規教員数の抜本増を求めました。さらに、過労死ラインを超える時間外労働が教員職場で常態化している現状について、労働条件の改善が必要だと質しました。

答弁ダイジェスト

味口議員：産休や病欠は予想されていた。対策が弱すぎる。

長田教育長：予測以上の療養休で教員の確保が難しくなっている。

味口議員：教員の労働条件の改善が、子どもの教育条件の改善だ。その角度でこの問題を考えなければいけない。働き方改革と言って6時になると帰らせるが、実際は風呂敷残業であり、改善されていない。

濱田事務局担当部長：極力持ち帰ることのないよう指導しているが、業務過多になった時は持ち帰りも起こっていると思う。縮減に向けた業務の見直しを進めている。

味口議員：ずっと業務過多だと聞いている。教員の皆さんは、本当に子どもが好きで、教えることを誇りに思っている。これを生かさなければならない。抜本的な正規教員の増加と労働条件の改善が必要だ。

賃金の引き上げと社会保障の充実で、経済成長の停滞と人口減少の加速打破を!

赤田議員が意見表明

10月12日に神戸市決算特別委員会がひらかれました。日本共産党神戸市会議員団を代表して赤田かつのり議員が登壇し、2022年度神戸市会計決算並びに決算関連議案に対し、反対の理由を述べました。



1. 神戸市民の賃金引き上げ、市職員の処遇の改善に背を向けているから
2. 住民福祉の向上という自治体本来の役割を投げ捨て、社会保障や子育て支援に逆行する策を次々に打ち出し、市民負担をより一層強めようとしているから
3. 公共施設を統廃合し、公的責任を後退させているから

4. 市民の願いよりも、国言いなりの投機的な大型開発によって人口減少を加速させているから
5. 気候危機打開、エネルギー施策、食料自給率向上に相反する施策を継続し、ジェンダー平等の実現にも積極的に取り組む姿勢が極めて弱いから

※反対理由の詳細は「日本共産党神戸市会議員団」のホームページ、または右上のQRコードからご覧いただけます。



10月3日

市民の足を奪う、
市バス・地下鉄値上げ反対
交通局審査で西議員



質問する西ただす議員

神戸市は巨大開発・一部企業の呼び込み、税金をつぎ込む一方、身近な市民

上下水道審議会では、水道事業の経営が厳しいことを理由に、水道料金の値上げが検討されています。赤田議員は「値上げされるとささやかな楽しみであるお風呂の回数を減らすしかない、という高齢女性の声などを紹介し、「30年にわたる経済の停滞に加え、物価高騰が今市民に襲い掛かっている。住民福祉の増進に相反することを推進するのは公営企業の趣旨に反する」と追及、水道局として水道料金の値上げはしないよう、毅然とした態度をとることを求めました。また、

10月4日

統合ありきの計画は
白紙撤回を
健康局審査で朝倉議員



質問する朝倉えつ子議員

決算特別委員会審査から④

1. 運転手の人材確保・育成について
2. 物価高騰の中での運賃改定について
3. 住民の声を聞いた路線・便数のあり方について
4. 長田区・兵庫区のバス路線の再編について —— 森本真議員

質疑項目

サービスは切り捨ててきました。その結果、神戸の人口は150万人を切っていました。にもかかわらず、神戸市はコロナ禍や物価高騰で苦しんでいる市民に対して、さらなる負担をおしつける30円ものバスの運賃改定や地下鉄の運賃値上げを計画しています。西議員は「大型事業ばかり重視するのではなく、交通事業を支援していくことが、神戸市の発展に寄与するのだと、国にも市にも、もっと求めるべきだ。短期的にも長期的にも市

民の足を奪い、乗降客数を減らすことにつながる運賃値上げはおこなうべきではない」と質しました。

答弁ダイジェスト

習田副局長：(乗降客数には)一般的にそれほど大きな影響が出ることは、過去の事例ではないと認識している。

西議員：外に出たい人が出れなくなるのが心配だ。敬老パスのときも出れない人が増えた。市民にとって市バス、地下鉄はふだん使いしてる大事なもの。身近な市民サービスを守っていくべきだ。

10月3日

水道料金の
値上げはやめよ
水道局審査で赤田議員



質問する赤田かつのり議員

1. 自己水源の活用について
2. 水道料金の値上げについて
3. 給水停止について

質疑項目

市民に安全で良質な水を安定的に供給しつつ、経営環境を改善するために、一般会計からの繰り入れや国庫補助金の増額を提案しました。

答弁ダイジェスト

赤田議員：地方公営企業法17条の2に「能率的な経営を行ってもその経営に伴う収入のみをもって充てることが客観的に困難と認められる経費について(一般会計等を)充てることができる」と書かれている。足りない分を一般会計から求めるのは筋だ。

藤原局長：本筋としては、一般会計に繰り入れを求めるのは独立会計の考え方からは少し違う。ご利用いただいた分についてご負担いただくというのが本筋と考える。

赤田議員：つまり、一般会計からの繰

り入れを増やす気がない。それなら歳出面はどうか。4 拡送水トンネルは更生工事の計画で現在は機能を停止している。供用を開始してそれほど年月が経っていない大容量送水管から各家庭に水道水を安定的に供給できている。134億円もかかる4 拡送水トンネルの工事は不要不急な計画。「水道の経営が厳しい」というが矛盾している。水道料金の値上げは全く筋が通らない。

1. 新型コロナの検証について
2. 済生会兵庫県病院統合について
3. 神戸市立看護大学入学金廃止・授業料無償化について

質疑項目

神戸市北区にある済生会兵庫県病院と三田市民病院は、医師不足や施設の老朽化などを理由に将来的に単独で継続するのは難しいとして統合が計画されている(2面につづく)

す。統合移転先として北区长尾町宅原があがっており「遠くなれば通えない、〃病院が無くなるのと同じだ、などの声もたくさん出ています。朝倉議員は「コロナ禍を経験し、苦労しながらコロナ対応をされている2つの病院を、統合ありきで病床を減らし、済生会病院は市民が通院しにくい遠く不便な場所へ移転させようとしているのは道理がなく本末転倒

だ」と追及。統合ありきの計画は白紙撤回するよう求めました。また、神戸市として支援するのであれば、新統合病院でなく今の済生会兵庫県病院への支援に力を尽くすべきと質しました。

答弁ダイジェスト

朝倉議員：神戸市が土地代や周辺道路の整備代も負担するといっているが、物価高騰、資材高騰が続いており、莫大な財源がかかる。それだけ財源かけるのなら済生会病院にもっといろんな支援がで

きるのではないかと。

梅永担当部長：支援の金額という問題ではなく、何を支援することにより何が解決できるかの問題だ。有識者も含めて議論を進めて再編統合が望ましいという結論をいただいた。それに向けて市として協力出来る支援を行っていく。

朝倉議員：市長は本会議で「両病院が単独で存続できれば一番それが望ましい」と言われた。そういう思いがあるのなら、今の場所できちんと存続させるという立場で支援を検討すべきだ。

10月4日

市民のための市営住宅を建築住宅局審査で森本議員



質問する森本真議員

神戸市は、今、老朽化を理由に全区で駅に近い市営住宅も対象に入れ7000戸を削減する第3次マネジメント計画を進め、さらに1800戸を将来の再編予定として募集を停止しています。人口減少が進む中で、ニュータウンなどで、神戸市自

- 1. 市営住宅の削減について
- 2. 大量の空き住戸の解消と募集拡大について

質疑項目

身が市営住宅に空き家をつくり、人口減少に拍車をかけています。

森本議員は、市営住宅の応募倍率は高倍率で、入居を求める市民が多くいる中で、空き住戸の改修予算が少なく、長田区をはじめ多くの空き住戸があることを指摘し、改修費を増やし募集に回すように質しました。

答弁ダイジェスト

森本議員：(将来再編予定の市住は)基本的に今は期限付のおよそ10年、若者世帯を含めて募集をしているが、そこはきちんと(一般も含め)募集をすべきではないかと。

根岸局長：現在計画中のものは、停止させていただき、それ以降も一般募集を停止している。吟味が必要だが期限付の募集に回し始めている。

森本議員：募集を停止され、困っているところが、いわゆるニュータウン、須磨区・垂水区・北区・西区だ。6000何戸のうちの4000戸が募集されない。これは、ニュータウンの人口減少に対して抑制ではなく反対に人口減少を促しているのではないかと。

根岸局長：募集をわざと止めている状況ではない。

森本議員：多くの皆さんが郊外であろうとなかろうと、建て替えを望んでいる。市営住宅を活用することが、今、大事だ。エレベーターのない住宅が使いにくいなら、最新の新しい住宅に替える。またシルバーハイツや障がい者の特目の倍率も結構高い。郊外だけにとどまらず積極的に建て替えの計画をつくるべきだ。

10月4日

地域図書館指定管理者制度やめ、地域に根差し市の直営で文化スポーツ局審査で松本議員

神戸市は現在、中央図書館以外の地域図書館は指定管理者制度で運営をおこなっています。ユネスコの公共図書館宣言では「すべての人が情報や知識に公平にアクセスできるという原則を守ること」と提言されています。松本議員は「地域図書館は、貸し本屋や学生の自習スペースの提供のようになっている。地域社会や住民生活を支える状況拠点としての役割を積極的に果たし、図書館の運営計画や政策立案に利用者や住民も参画すべき」と指摘し、指定管理者制度ではなく、市の直営で運営するよう求めました。

答弁ダイジェスト

松本議員：指定管理者に委託している金額が非常に安価だが、重要な専門職で

- 1. 地域図書館の指定管理者制度について
- 2. 王子公園再整備基本計画(素案)について

質疑項目

—— 味口としゆき議員

ある司書の役割にふさわしい人件費を出すべきだ。

中山中央図書館長：実際どれくらいの金額を渡しているかわからないが、最低の金額ではない。研修も指定管理者が企画している。

松本議員：司書はボランティアではない。研修をしても1年や5年の契約だと無駄になってしまう。

中山中央図書館長：地域図書館の離職率は低い。指定管理者が変わった場合でも、引き続き勤務を望む職員の面接依頼を求める。



質問する松本のり子議員

松本議員：地域図書館は、地域に根差し住民と結びついて仕事ができるように、正規職員という形で配置すべきだ。

済生会兵庫県病院 市民の声は統合止めよ



神戸市健康局と懇談する朝倉議員

昨年10月18日の福祉環境委員会には、済生会兵庫県病院の存続充実を求める陳情が3件、各区に保健所の復活等を求める陳情が1件出されました。

陳情者から「急性期病床が少ない北神地域で、統合によりさらに病床減少すれば、命にかかわる大きな不安を抱える」「三田市民病院への巨額の財政支援をやめて、済生会兵庫県病院への財政支援の強化」などの声が出されました。

日本共産党市会議員団は、済生会病院が32年前、暮合から北区の現地に移転する際、市が65億7千万円で算合の土地を購入したことなど明らかにし、新統合病院に投入する財源があるなら、今の済生会病院を存続させるために支援を尽くすべきと、それぞれ陳情の採択を主張。他の会派は市民の願いに背を向け「不採択」や「審査打ち切り」を主張し、4件の陳情は採択されませんでした。

●三田市議会では市長に問責決議

三田市では、昨年7月の市長選挙で「三田市民病院の統合神戸移転は『白紙撤回』」を公約し当選した市長が、11月末の市議会で「統合一案を推進する」と表明しました。三田市議会では「選挙の『公約』は、有権者が判断する最も重要なもの」「多くの市民を混乱させた」と「市長に猛省を促す」問責決議が出され、議会多数の賛成で可決されました。

北区民、三田市民、どちらも、病院統合移転は中止の民意は明確です。統合ありきで市民の声を聞かない市政の転換が必要です。

●陳情に対する各会派の態度

	○採択 ×不採択 ■審査打ち						結果
	共産	自民	公明	維新	未来	つなぐ	
陳情第28号 済生会兵庫県病院へ神戸市から抜本的支援を行うことを求める陳情	○	×	×	×	×	×	不採択
陳情第29号 済生会兵庫県病院の統合移転はやめ、病床を増やす施策を求める陳情	○	×	×	×	×	×	不採択
陳情第30号 各区に保健所の復活・増設を求める陳情	○	■	■	×	■	×	審査打ち
陳情第31号 済生会兵庫県病院の存続・充実を求める陳情	○	×	×	×	×	×	不採択

日本共産党=共産、自由民主党=自民、公明党=公明、日本維新の会=維新、こうべ未来=未来

議員期末手当を値上げ 日本共産党市会議員団は賛成せず

長期にわたる経済停滞と暮らしの困難が続いているところへ物価高騰が襲いかかっています。市民の暮らしが大変な時に、神戸市では、水道料金、市バス運賃などの値上げが計画されています。

一方、昨年末の市議会では、自民党、公明党、こうべ未来の各会派から、議員の期末手当を4.35か月から、4.45か月に引き上げる条例の一部改正を求める提案がされ、可決されました。日本共産党市会議員団は、市民に負担増を求めながら、議員の期末手当上げは論外だと反対しました。

賃金引上げと社会保障の充実で市民のくらしと営業守る市政に

2024年度予算要望を提出



来年度予算要望を提出し申入れする市会議員団

本会議で代表質疑する朝倉議員



朝倉えつ子

神戸市会議員

発行：日本共産党神戸市会議員団 〒650-0001 神戸市中央区加納町6-5-1 党市議団 HP: <https://www.jcp-kobe.com/>

政治の責任で、賃上げと待遇改善を！

自民党政治が30年に及びすすめてきたコストカット型経済は、非正規雇用を拡大し、日本を賃金の上がらない国にしました。景気を冷え込ませている大きな要因です。

神戸市は「行財政改革」と称し、職員削減をすすめながら、非正規雇用の「会計年度任用職員」

を拡げてきました。6,000人の非正規の市職員のうち75%が女性です。政治の責任で賃金を上げることが必要です。

朝倉えつ子議員は、本会議代表質疑で、市として非正規雇用を拡げるのは止めて、男女の賃金格差是正に踏み出すよう求めました。

公立幼稚園13園を閉園?!

神戸市は、保護者の強い願いである「3歳児保育」には背をむけたまま、児童数が減少している市内の公立幼稚園を廃止させる方針(案)を発表しました。

からと、道場、八多、大沢、山田など、市内13園を2028年までの段階的な廃園計画です。ほとんどの対象園近隣には、代替園などありません。

保護者説明会では、「遠くなれば通えない」「ここしか入れなかった…」など、切実な声が出されています。



からと幼稚園

●1,485筆の陳情を「打ち切り」に

昨年11月30日の教育子ども委員会には、からと幼稚園の保護者から「地元の声をよく聞いた上で検討を求める陳情」が提出され、わずか1週間で1,485筆の署名が集まりました。

日本共産党市会議員団は「大規模では通えなかった子どもが、欠席せず通える」など保護者の声を示し、小規模で問題が生じているのかと質議しました。教育委員会は「過去の再編・統合における集団規模の考え方も参考に…」などと述べ、現場の声もつかまず、再編根拠も明らかにしません。

陳情について、日本共産党市会議員団は、市立幼稚園の統廃合ありきの方針案と、市立幼稚園13園の廃止に反対し「採択」を主張。共産党以外すべての会派は、保護者の願いを「審査打ち切り」にしました。保護者、地域の声を踏まえ、方針(案)は見直すべきです。

●地域の市立幼稚園なくさないで！

すべての子どもをわけへだてなく安心して預けられ、住み慣れた地域で通える市立幼稚園の存続へ、ご一緒に声を上げていきましょう。

●陳情に対する各会派の態度

陳情第 37 号	○採択 ×不採択 ■審査打ち -委員なし						結果
	共産	自民	公明	維新	未来	つなぐ	
今後の幼児教育・保育における市立幼稚園について(方針)案について、地元の声をよく聞いた上での検討を求める陳情	○	■	■	■	■	-	審査打ち

日本共産党=共産、自由民主党=自民、公明党=公明、日本維新の会=維新、こうべ未来=未来



学校給食の無償化！子どもたちに安心安全なあたたかい給食を！



「大原中学校、鈴蘭台中学校、淡河中学校、八多学園、大沢中学校での自校調理の給食実施、北区の農産物で作る給食提供」を求める陳情など、学校給食の無償化や学校調理による中学校給食を求める陳情10件が、昨年、教育こども委員会に提出されました。

神戸市においても、学校給食無償化を直ちに実施し、できるところから学校調理、親子調理の給食を実現するべきです。日本共産党市会議員団は、10件の陳情すべてに賛同し「採択」を主張。他の会派は「不採択」や「打ち切り」を主張しました。

● 陳情に対する各会派の態度

○採択 ×不採択 ■審査打切 -委員なし

陳情第 25 号	共産	自民	公明	維新	未来	つなぐ	結果
神戸市北区の中学校給食の改善を求める陳情	○	×	×	■	×	-	不採択

日本共産党=共産、自由民主党=自民、公明党=公明、日本維新の会=維新、こうべ未来=未来

有野町有野の違法土砂 市による代執行始まる

有野町有野地域の、民間事業者による違法盛土の土砂を、神戸市が一部撤去する行政代執行がされています。昨年8月の台風7号の際には、68世帯109人対象に早めの避難を呼びかける「警戒レベル4」の避難指示が出され、最大で12世帯26人の方が避難される事態となりました。

● 危機管理意識が低すぎる

朝倉えつ子議員は、昨年10月2日の決算特別委員会の危機管理室・消防局への質疑で、2年前に環境局が違法土砂を認識し、2022年には危機管理室、消防局とも「人家に被害が及ぶ可能性がある」と情報共有していたことを明らかにしました。住民への説明や対策がなぜ遅れたのか、市の責任を追及し、速やかに土砂撤去を求めました。また、「避難所が遠くて行けない」住民の声を示し、作り替えた避難計画に住民の声をきちんと反映するよう求めました。

危機管理室は「中途半端な情報を流すことは、いたずらに不安をおおる」などと答弁しましたが、住民の命と安全を守る立場の市として、あまりにも危機意識が低す

ぎます。消防局は「(避難の時間がかかる方に)どういう形の避難が望ましいか、今後課題として情報共有できるか考える」などと答弁しました。

● 住民に寄り添い命守る対策を

敷地内の土砂量は、基準量の30万立米を超える48万立米です。代執行で撤去されるのはわずか1万立米ほどで、違法状態が解消されるわけではありません。市は代執行直前の住民説明会(昨年10月22日)まで、48万立米の土砂量を住民に知らせず、「説明が悪かった」と報告し、避難指示について「課題があった」としました。

「残り10数万立米はどうするのか」「いつ安全になるのか」「許可責任は市にある」住民の不安と怒りは広がっています。住民不安に寄り添い、命最優先に対策すべきです。



危機管理室・消防局に質疑する朝倉議員

市立看護大学の入学金・学費無償化を

神戸市看護大学では、卒業生の市内就職、定着を促すための奨励金を支給することで、2023年度より入学金が実質ゼロになる制度をスタートさせています。

神戸市として、学びたい人や若い人を応援することを示す姿勢が大事です。朝倉えつ子議員は、要件をつけず全ての受験生対象の制度拡充を求め、「学費を自分で払い、バイトと学業の両立が難しい」という学生の声を紹介し、学費無償化を求めました。



決算特別委員会健康局審査で質疑する朝倉議員

クリーンステーション

掃除当番は要らなくなるの？

家庭ごみを収集するクリーンステーションについて、神戸市は、高齢化によりゴミ出しが負担となっていること、戸建住宅の跡地に小規模集団住宅が建設され、利用者が増加し管理が困難になっていることなどを理由に、①クリーンステーションを増やし、②クリーンステーションの管理負担を軽減するため、「燃えるごみを収集するステーションで、すべて(缶びんペットボトル等)のごみ収集」と、「ゴミ収集車に乗車する職員によるカラス除け対策ネットの片づけなど」を行うことを検討しています。

市民からは、「掃除当番は本当に要らなくなるの?」「ステーションに全ごみを捨てられるの?」と期待がある一方、「ゴミ収集車が拾い損ねたゴミが散乱していても走り去ることがある」などの声もあります。

市は、「回収ルート工夫と効率化」と、「ゴミ出しルールの徹底」を、市民やステーション管理者、市との連携で行うとしていますが、具体的な対策は「地域との協議ですすめる」としています。

日本共産党市会議員団は、労働強化の懸念とともに、地域によってサービス格差が生じることがないように求めました。さらに、他都市で行われているゴミ有料化を懸念し、負担軽減のために市民にあらたな財源負担を求めることがないように求めました。



安心して学童保育を利用できるよう、 新たに児童館の建設を

10月24日に神戸市会本会議がひらかれ、日本共産党神戸市会議員団を代表して森田たき子議員が一般質問に登壇しました。

質疑項目

1. 学童保育の過密解消について
2. 農業振興の強化について
3. 西区で検出された基準値を超える有機フッ素化合物(PFAS)対策について

神戸市内の学童保育は、市のガイドライン基準を超えた児童館が25施設にもおよび、過密状態が深刻になっています。西区の井吹東小学校では総児童数が1000人超えのマンモス化が続き、学童保育はガイドライン基準をはるかに超え、学年別でプレハブ校舎と児童館と地域福祉センターを利用しています。指導員は児童を無事に帰すのみで余裕が

ありません。また、長坂小学校では、学童保育に2教室と多目的室も使い、のびのびひろばに2教室を使っているため、特別支援学級は教室が足りず、物置を転用しなければ教室を確保できない深刻な状態になっています。森田議員は、子どもたちが安心して学童保育を利用できるように、新たに児童館を建設するよう求めました。

森田議員が 一般質問



2・3年生が利用している定員40名の児童館には134人の児童がおり、お弁当やおやつの中には部屋を交代しながら食べ、体調が悪くなった児童は混雑した部屋の隅で休ませている。毎日トラブルが絶えないと聞いている。改善が必要ではないか。

小原副市長：児童館が手狭になったら周辺の地域福祉センターや集会所等を活用し、ほぼ毎日運動場も利用している。

森田議員：長坂小学校では、長坂幼稚園の跡を改修して利用しているが、裏側の斜面は土砂災害警戒区域に指定されており、指導員からは改

善を求める声も聞いている。この問題にはどのように対応するのか。

小原副市長：安全管理マニュアルにもとづき、避難情報が出た場合には速やかに避難先である校舎内に引率する等の対応を周知している。

森田議員：児童館を新たに建設するための敷地は十分にある。厳しい社会状況を反映して就労家庭は増え、学童保育の利用が増え続けています。西区以外にも、人数が多くなって困っているところについては、「子育てしやすいまち」と市長が言うのであれば、改めていく必要がある。

答弁ダイジェスト

小原副市長：学校施設の活用をより一層促進するとともに、民間学童での受入れ拡大

なども含めて、学童保育の実施場所の確保に取り組んでいきたい。

森田議員：伊吹東小学校の

農業を安心して続けられるよう 支援強化し、食料自給率の向上を

日本農業の危機が急速にすすみ、農業者は減少し、日本の食料自給率はカロリーベースで38%と、異常な水準まで低下し、神戸市の農業も危機的な状況になっています。森田議員は先の委員会でも、23年間神戸市が独自で実施してきた価格保障と所得補償をす

る「神戸市野菜栽培契約事業」の復活を求めましたが、局長は「役割を果たした」と後ろ向きな答弁に終始しました。森田議員は、厳しさが続く今こそ、市が独自支援として価格保障と所得補償をおこない、神戸市の農業を強化すべきと質しました。

少と自然災害による損害を補填する事業が継続されており、市独自で所得補償、価格保障を実施する必要はない。農業委員会の皆さんと意見交換をしたが、価格保障をしてほしいという意見はなかった。市では後継者や農村地域への移住を推進することが重要だ。

森田議員：農家の皆さんからは「神戸市は事業が先にありきで生産者の意見を聞かない」「機械購入の補助金も法人化の方向で、個人農家を潰していくのか」「高収入の儲

かるようなところにしか新規就農者の人たちも行かない」と厳しい声をどのように受け止めているのか。

今西副市長：農家の方々の意見を聞いて事業を推進している。

森田議員：新規就農者の人たちが、農業を始める時の支援の要件が非常に厳しい。生産者の皆さんと丁寧に意見交換し、市独自で支援をすべきだ。

答弁ダイジェスト

久元市長：国と県で収入減

市民の命を守るため、発生源の特定・規制と健康調査早急に!

神戸市は、2020年から毎年4回、明石川と伊川の8か所で化学物質PFAS（ピーファス）のうちPFOS（ピーフォス）とPFOA（ピーフォア）を測定しています。PFASは体内に残留する重大な疾患として、幼児や胎児の成長低下、腎臓がんのリスクの増加

など国際的な知見が出て、日本でも製造や輸入が禁止となっています。日本では環境省が暫定目標値を定めていますが、西区の中津橋や藤原橋など多くの場所で基準値を超える数値が出ています。森田議員は、発生源を特定し、規制するよう強く求めました。

答弁ダイジェスト

今西副市長：どの程度の量が体に入ると影響がでるのかなど確定的な知見がなく、基準を定めるのは困難だ。国内で健康被害が発生した事例はないが測定地点を増やす。

森田議員：明石川の上流には産廃施設もあり、近隣の皆さんは大変心配している。なぜ原因を追究しないのか。

今西副市長：排出元の可能性が高いと推測される事業者がわかれば、自主的な取り組みを促すが、現時点では排出

基準がなく立ち入り調査や強制力を伴う指導はできない。

森田議員：地域住民の皆さんの心配は健康への影響だ。住民の皆さんの健康影響調査もおこなうべきだ。

今西副市長：国で国際的な知見を集めている段階なので、その状況を見守る。市で健康被害の調査をする予定はない。

森田議員：人体に残留していく危険な物質であることは明確だ。市民の命を守るために、発生源を早くつきとめ防止すべきだ。

地域の近隣商業施設の維持・存続を

食品スーパーを運営する株式会社トーホーは、市内19店舗のうち他社へ事業譲渡対象外の市内11店舗を2025年1月までに閉店と発表しました。郊外やニュータウン地域のスーパーは住民の暮らしを支え、雇用や交流の場としての役割を果たしており、市民生活への影響は深刻です。

10月27日、日本共産党神戸市会議員団の西ただす議員、森田たき子議員、前田あきら議員は、かとうけんじ党衆議院兵庫3区国政委員長、ひびゆうこ党衆議院兵庫4区国政委員長と、トーホーを誘致しているこうべ未来都市機構に対して、地域の近隣商業施設の維持・存続を求める緊急申し入れをおこないました。神戸市の担当者は「他社の誘致含めスーパーマーケットの維持に努めたい」と回答しました。



申し入れをおこなう（右から）、かとうけんじ党衆議院兵庫3区国政委員長、前田あきら議員、西ただす議員、森田たき子議員、ひびゆうこ党衆議院兵庫4区国政委員長

王子公園再整備計画に反対の声74283筆!!

10月26日、日本共産党神戸市会議員団の味口としゆき議員と大かわら鈴子議員は、「みんなの王子公園 & 動物園の会」の皆さんと、王子公園再整備計画に反対する74283人分の署名を久元神戸市長あてに提出しました。

対応した神戸市当局は、「皆さんの声を受け止める」などと言いましたが、実際は大学誘致、プールや相撲場の廃止、テニスコートやサブグラウンドなどの縮小は変更されていません。さらに、大学誘致のために動物園の敷地面積は全く拡大されず、飼育動物130種のうち、50~60種が削減され、また景観や自然を破壊する樹木の伐採の規模などは何も示さず進めています。

日本共産党神戸市会議員団は、計画を撤回させ市民の皆さんのための王子公園・動物園になるよう、引き続き力を尽くします。



「みんなの王子公園&動物園の会」の皆さんと署名を提出する味口としゆき議員と大かわら鈴子議員

西議員が決算討論に登壇

10月23日、日本共産党神戸市会議員団の西ただす議員は、2022年度神戸市各会計決算と決算関連議案の委員長報告に対し、反対討論をおこないました。

討論の全文はこちらをご覧ください



外郭団体特別委員会審査から③

神戸市議会外郭団体に関する特別委員会の審査が8月8日と28日、9月6日にひらかれ、日本共産党神戸市会議員団の大かわら鈴子議員と前田あきら議員が外郭団体の運営状況などについて質問しました。

8月8日 都市局

雲井通5丁目再開発株式会社

物価高騰

膨らむ工事費 三宮再整備は見直しを!

——— 前田あきら議員

雲井通5丁目再開発株式会社は、中・長距離バスの乗降場を集約した新たなバスターミナルビルの整備を始めています。前田議員は、物価高騰で工費が高くなっている中で地権者に負担や損害が及

ばないように事業内容そのものを見直しを求めました。

答弁ダイジェスト

前田議員：物価高騰でも計画を変えないことは可能なのか。学校の整備などにも補助金には上限がある。再開発だけ補助金がどんどん出るようなシステムではないかと思うが。

中原都心再整備本部長：途中で工事費が上がると、地権者の生活再建に影響が出るので、通常の物価高騰の補助金に当



たらない部分を対象にした国費の補助制度がある。できるだけ国への要望の中で(補助を)いただく。

前田議員：私たちは当初からこの計画そのものがオーバーストア(店舗過剰)になり、本当に実態に見合ったものかどうか疑問を持っている。工事費を含め事業内容についても見直すべきだ。

その他の質問

- サンプルの権利者について

——— 大かわら鈴子議員

8月28日 教育委員会

一般財団法人 神戸市学校給食会

連携を強化して 地産地消の推進を

——— 大かわら鈴子議員

一般社団法人神戸市学校給食会は、食育の推進や地産地消のため、安全で良質な食材調達を掲げています。現在お米については100%市内産を使用していますが、生鮮野菜は13%~14%台で、不足分は輸入食材でまかなっています。大かわら議員は、今年度の目標を20%としていることに対し、現状と比べて乖離してい

ると指摘。輸入食材を減らし、関係部局との連携を強化して地産地消の更なる推進を図るべきと求めました。

答弁ダイジェスト

常務理事：生産者の減少と得意不得意な野菜があり伸びない。規格外のものを加工品として使うなど、JAや経済観光局と連携しながら取り組む。

大かわら議員：担い手不足の点でも農福連携でキーパーソンとなる障害者施設の指導者の方の受講推奨強化などの取り組みが必要ではないか。

常務理事：経済観光局で給食に特化した作業をする方の育成を始めているが、



農福連携では指導する指導員も高齢化し拡大が難しい。

大かわら議員：情報を密に交換して連携し、取り組みを強化すべきだ。

その他の質問

- 国産小麦の使用について
- 学校給食費の負担軽減について

——— 前田あきら議員

8月28日 建設局

公益財団法人 神戸市公園緑化協会

王子動物園再整備

事業者が望む形で運営続けられるよう丁寧な対応を

——— 前田あきら議員

公益財団法人神戸市公園緑化協会は、王子動物園等の公園施設の維持管理、遊戯施設や売店等の収益施設の運営をおこなっています。王子公園再整備計画は当初、動物園内の遊園地を廃止し駐車場に

する計画でしたが、遊園地廃止を惜しむ声が多くあがり、市が責任を持って運営するという方針に転換しました。前田議員は「遊戯施設の事業者も現状のまま運営を希望されている。今のままで続けると市長も答弁したのだから、数年後に追い出すような形にならないよう丁寧な対応をとるべき」と求めました。

答弁ダイジェスト

常務理事：状況を見ながら今後の関わり方を考えていきたい。

前田議員：現在運営されている方は中小業者が多く、引き続き運営を望む声もある。協会として動物園の在り方検討会に関わるので、利用者や事業者の声を丁寧に聞き、代弁する側に立つべきだ。

常務理事：スケジュールが出るまでは今までの形で続けていくのが一つの方向性だが、遊園地もかなり老朽化している。事業者との関係は考慮していきたい。

その他の質問

- 六甲山の間伐材の利用促進について

住民の声聞き、 早急に無料化を

——— 大かわら鈴子議員

神戸市道路公社は、六甲有料道路や山麓バイパスなどの維持管理をおこなっています。夢野白川線の菊水町で海上コンテナ車が横転する事故が起き、今年からは海上コンテナ車等の特殊車両は新規の通行許可をしないことになりました。完全に通行できなくなるのは2年後とされていますが、周辺住民の皆さんからは既

に交通量が減ったことに喜びの声が出ています。しかし、国道2号線や175号線などの交通量は減少していません。海上コンテナ車や大型車を山麓バイパスに誘導するためには早期に無料化すべきですが、神戸空港国際化に向けて進められている新神戸トンネル南伸のために残積が増え、無料化が遅れる可能性もでています。大かわら議員は、南伸事業の中止と早急の無料化を求めました。

答弁ダイジェスト

原副局長：トラック協会に要請をしてからは(山麓バイパスが)増える傾向にある。国道2号線などの近傍の物流道路に

も一定の転換が図られているかと思う。

大かわら議員：2号線も175号線も街中を走っている。そこに大型コンテナ車が増えることになればそれも問題だ。渋滞対策も合わせて時間帯でインセンティブをつけるなど、さらに山麓バイパスに誘導する対策が必要だ。

原副局長：過去に値下げをして交通量の転換を図ってきた。引き続き検討していきたい。

大かわら議員：産業道路でも生活道路として使われている。市民の皆さんの声を聞くべき。一番の誘導策は早く無料化にすることだ。

8月28日 福祉局

公益財団法人 こうべ市民福祉振興協会

しあわせの村の理念に基づいて 活性化しよう支援を

——— 前田あきら議員

公益財団法人こうべ市民福祉振興協会は、「神戸市民の福祉をまもる条例」の実現を目指す「しあわせの村」の管理運営をおこなっています。しあわせの村は、協会の中長期計画で村全体の長期的な改修計画を策定し、今年4月にトリム園地など一部の遊具をリニューアルしました。一方でプールや更衣室、わいわいハ

ウス(乳幼児の無料休憩所)は老朽化が進んでいるのに未だ改修されていません。前田議員は、子育て世代や高齢者、障がい者の皆さんをはじめ市民が安価で気軽に安心して利用できるよう、速やかに予算を組んで対応すべきと質しました。

答弁ダイジェスト

専務理事：ご指摘の通り老朽化が進み、プールはきれいに見えないところもある。劣化した部分は市と相談して考えたい。

前田議員：リポートしていただくには、気持ちよく使っていただくことが優

先だ。最近民間の有料遊具施設ができたが、同じ施設の中で無料の休憩所では古くて首が取れた人形が置いてあり、お金を払えば遊具もきれいというのは、村の理念にそぐわないのではないかと。

若杉副局長：計画的に修繕し、村全体の魅力の向上を図っていきたい。

前田議員：改修をしても料金を上げれば本来の村の理念が果たせなくなるので、必要な部分は神戸市で支援をすべきだ。

その他の質問

- 介護保険事業について

——— 大かわら鈴子議員

9月6日 水道局

一般財団法人 神戸市水道サービス公社

若い世代への技術継承とともに 非正規職員の正規化を

——— 大かわら鈴子議員

一般財団法人神戸市水道サービス公社は、神戸市内の水道利用の促進と維持管理をおこなっています。公社では、市の行財政改革路線に基づき、新規採用が抑制されてきました。その結果、年齢構成は40代までの職員が極端に少ないなど、

アンバランスな構成であり、業務も多くの嘱託職員に支えられています。大かわら議員は、災害時対応等さまざまな問題があることを指摘し、技術継承やノウハウの蓄積、新規採用増、さらに正規への転換を求めました。

答弁ダイジェスト

常務理事：引き続き人材の確保に努めたい。

大かわら議員：固有職員に比べ嘱託職員が多い。公社が担う事業は公共性が高く、継続性を保たなければならない。他

都市への指導や監督が増えている中で、スキルを高めるために正規へと転換すべきだ。

常務理事：資格取得の受験料を支援している。正規の事務職になった方もいる。

大かわら議員：スキルアップも正規への転換もきちんと位置づけて、人材確保に取り組むべきだ。

その他の質問

- 直結給水について

ぜひご視聴ください

松本のり子議員・西ただす議員が一般質問

日時 12月8日(金) 11時50分頃から 場所 市議会本会議場

時間が前後する可能性がありますので、余裕をもってご覧ください

ご視聴はこちらから



前田あきら



歩いて通えるところに

保育所を つくって

希望する施設に



春の神戸市議選で議会に送っていただき半年がたちました。9月から開かれた議会で願い実現に全力をあげています。

岸田首相がいう「コストカット型の経済」をすすめた歴代自民党政政治のもと、日本は30年にわたり「賃金の上がない国」に。

保育士や教職員の正規雇用化や待遇改善など神戸市ができる「賃上げ」とあわせて、子どもの医療費や学校給食の無償化、大学学費の減免など、子育て世代の家計応援に力を尽くすべきです。

まだまだ 足りていない須磨区

6月に突如「段階的閉所」が通知された長田区の市立保育所。ある利用者は、お住まいの妙法寺周辺の保育所3園に入所を断られ、第4希望でやっと入所した保育所が閉所に。

前田あきら議員は、保育利用実態調査からも須磨地域の保育所がまだまだ不足していると指摘。妙法寺駅周辺など、歩いて通える場所にもっと保育所をつくるよう求めました。

徒歩または自転車で通園できないところに通う園児(全体に占める割合)

神戸市全体	29,324人のうち7,182人(24.5%)
須磨区(本区)	1,525人のうち433人(28.4%)
北須磨管区	1,467人のうち563人(38.4%)

神戸市:中学校区をまたぐ保育利用実態調査(2022年4月時点)より作成

保育所

前田あきらの提案 須磨区版

保育士の本格増員 市独自に待遇改善を



行き届いた保育を進めるために配置基準(保育士一人が受け持つ子どもの数)の改善が求められていますが、神戸市はフリー保育士加配にとどまり、国の配置基準そのままになっています。西宮や芦屋、宝塚などの様に、国の配置基準を上回る保育士の配置をすべきです。

17年以上変わっていない民間施設職員給与改善補助も増額し、小規模保育など地域型保育事業にも拡大し、働くすべての保育士の待遇を改善すべきです。



学校給食の無償化を

学校給食の無償化を求める
2万5千569筆の署名を
神戸市教育委員会に提出



神戸の中学校給食を実現する会のみなさんと署名を提出(10月5日)

保護者の追加負担なし

学校給食の質を維持

食材高騰対策に7.5億円の補助が実現

学校給食の無償化を求める署名は1年余りで2万5千筆を超えました。神戸市長もついに7月25日に「国に給食費の無償化を求める」要望書を提出しました。

前田あきら議員は、神戸市独自でも給食費の負担軽減を求め、食材費の高騰分について公費で補助する補正予算も9月議会で実現。中学校給食費の半額助成とあわせて、今年度は10億8千万円の保護者負担の軽減につながりました。



須磨駅前 住民アンケートの声いかし

スーパーの誘致を直ちに



須磨駅周辺の再整備アンケートには2000を超える回答が。「JRの快速停車駅なのに、日用品を買うところがない」「コンビニではなくスーパーを」——多くの方から、昨年撤退したトーホー須磨店にかわるスーパーの誘致を求める声。

9月29日の前田あきら議員の質問に、神戸市は「須磨駅の再整備のなかで検討する」と約束。再整備待ちにならず速やかにスーパーを誘致するよう重ねて求めました。



トーホー名谷北落合店が25年1月までに閉店発表 神戸市はスーパーマーケットの継続を

こうべ未来都市機構に、スーパーマーケットの誘致と雇用の存続を求めるかとうけんじ党兵庫3区国政委員長(左)と前田あきら議員(10月27日)

またバリアフリーの充実などアンケートで寄せられた住民の声から出発した須磨駅再整備になるよう要望しました。

住み続けられるまちづくりを



市営住宅の廃止・転居の押し付けはやめよ

駅近の市有地への民間マンション誘致の一方、郊外で団地の空き家が増えています。これを助長しているのが、神戸市営住宅のマネジメント計画です。エレベータの無い住宅を原則廃止するため「募集停止」し、入居者の転居の受け皿として廃止対象外の住宅も募集が制限され、空き家が増えています。

入居者からは「高齢になって転居できない」「昨年の説明会から話がすすんでいない」など、不満の声がでています。

いずれの団地も耐震基準を満たしています。廃止ありきではなく、エレベータの外付け設置など住み続けられる対策をすべきです。

市営住宅入居状況(2023年8月末)

須磨区	入居戸数	空き戸数
募集停止住宅 16団地	2,238	1,061
廃止対象外住宅 (転居対象団地として) (募集停止含む)	3,864	888

須磨多聞線 住民合意ぬきに

工事強行は約束違反

神戸市は、行幸町4交差点より東側の中央幹線沿いに須磨多聞線の整備をすすめるとして8月にミニニュースを配付しました。

しかし橋脚設置にあわせて中央幹線の車道・歩道の幅員を狭める工事を一方的に進めることは、「道路の形状を変更等する場合は必ず地元当該自治会の同意を得ること」とした神戸市と住民との約束に違反するのではないかと、9月の説明会でも多数の住民が声をあげています。

地域と住民の理解や協力が得られない道路建設は許されないのではないのでしょうか？



出典:「としげいかくミニニュースNo.25」(神戸市建設局) (https://www.city.kobe.lg.jp/a59714/shise/kekaku/kensetsukyoku/avenue/sumatamon.html)



前田あきら

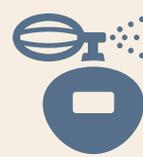
(10月19日 教育子ども委員会)

こどもたちの声を、政治に届けます！

※議会質問への答弁は、趣旨を変えない範囲で子ども向けにしています。

Q. 毎日パソコンを持って帰るので、ランドセルが重い!
(小学校2年生)

A. 教育委員会から学校には、低学年についてはパソコンを持ち帰らない「学用品持ち帰り例」も示し、登下校時の負担軽減をすすめる助言をしています。(教育委員会学校教育部長)



香害・化学物質過敏症をご存じですか？



化学物質が原因で体調不良になる化学物質過敏症。なかでも柔軟剤や芳香剤の「香り」で頭痛など体調不良に悩まされている人たちがいます。

「香害」対策について7月27日の神戸市消費生活会議で取り上げました。

神戸市健康局もポスターをつくり啓発していますが、これ

だけでは消費者同士の対応にとどまってしまう。

神戸市消費生活センターが積極的に広報と苦情を情報収集し、業界団体への規制要望や、神戸市に本社をもつ外資系大手メーカーに働きかけるよう求めました。

市の担当者も全国の事例も参考に対応したいと回答しました。

前田あきら

なんでも相談会
やっています

気軽に
ご相談
ください

日時 12月10日(日)、1月14日(日)

時間 午前10時~11時半

場所 日本共産党須磨区事務所 須磨区寺田町1丁目1-13 電話078-732-6578



松本のり子

神戸市会議員

決算特別委員会 経済観光局審査(9月27日)

新しい事業に挑戦する 市内事業者を応援！

「事業再構築補助金」制度の活用を

今年度新たにファッション課ができ、ファッション産業の活性化をはかるため、アパレル、真珠、ケミカル、パン、ケーキ、日本酒など地場産業を応援していますが、どの業種も厳しい状況です。前向きに事業をしようとしても資金がないため、あきらめる企業もあります。

例えばケミカルは皮靴が中心ですが、今流行のスポーツシューズを作るときの靴の型を事業再構築補助金を使って商品展開をしていくよう提案などすべきです。現在申請件数はわずか164件となっています。局として今あるいろいろな制度をもっと業者に知らせて業者に寄り添うべきです。

そして何よりもこの物価高の中での材料費調達もまなまりません。しっかり神戸の地場産業をはじめすべての事業者の声を聞き、守るため力をつくすよう求めました。

ウォーターフロント

2022年度決算をみると、ハーバーランドのモザイク1Fの高浜岸壁と中突堤を結ぶ橋梁整備や京橋船だまりの埋立の検討が行われています。

高浜岸壁の橋梁整備はもうすでにモザイクの2Fから中突堤に行く道路があります。また高浜岸壁からそのまま中突堤に行く道路も整備されています。にもかかわらず、海の上に橋を新たに作る検討がされています。

また京橋船だまりは今、海上保安庁の船が利用しています。そこを埋め立て商業施設を誘致するとのことですが、予算がいくらかになるのか、わからないまま計画だけ進められています。

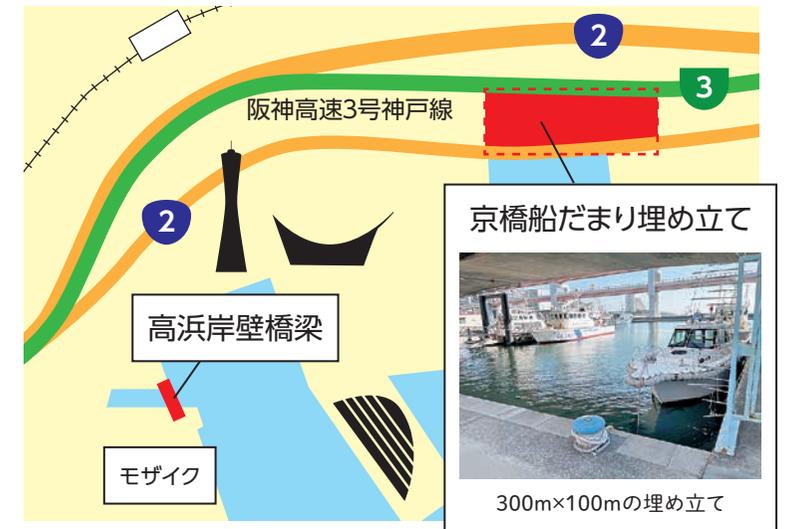
ウォーターフロント内には2棟のマンション(700戸)建設が進められていますが、マンション



決算特別委員会
港湾局調査

不要な事業の中止を

住民のための商業施設の整備こそ必要ではないでしょうか。2つの過剰な道路整備は中止にすべきです。



過大な需要予測に 基づいた

神戸空港の機能拡張は見直しを

過大な航空需要予測に基づいて、駐機スポットの拡張や新ターミナルの整備などで283億円。プラスメインターミナル代の予算となっています。

いい加減な空港の需要予測に基づいてつくった神戸空港。これまで航空需要予測は一度も実現していません。

空港島をつくった1982億円の借金も大半が未返済の中で、関空が国際便の対応ができないくらいはりつき、神戸空港を利用するという想定で拡張工事をします。市民のために使うべき市税を自民・公明・維新・こうべ未来の各会派の意向で空港に投入します。その額100億円以上です。一般財源は本来、福祉や教育に使うべきで空港に使うべきではありません。

	概算整備費 ※用地費除く	財源等の考え方
空港基本施設	約143億円	補助の対象となる事業への国庫補助(1/2以内)、市債、一般財源等により整備し、市債については、一般財源等により償還
付帯工事 (駐車場・構内道路等)	約50億円	市債等により整備し、駐車場使用料等により償還
サブターミナル	約60~90億円	市債や借入金等により整備し、空港施設利用料や民間事業者からの賃料等により償還
メインターミナル	未定	整備については、関西エアポート神戸(株)と調整中

上記に加えて

空港連絡橋を片側1車線を
2車線にする 25億円



公立幼稚園13園の廃止やめよ

神戸市は保護者の願いである「3歳児保育」「預かり保育時間の延長」を実施しない中で、市立幼稚園の児童が減少しているとして、13園の市立幼稚園を2028年度までに廃園する案を発表しました。2029年度以降には東灘区の2園の廃園計画も。

すべての子どもを分けへだてなく安心して預けることができる市立幼稚園の存続へ声をあげていきましょう。

廃園案が発表された13園

- 垂水区** たるみ
- 灘区** 六甲山
- 長田区** 西野
- 北区** 山田、からと、道場、八多、大沢
- 西区** 太山寺、櫛谷、おしんべ、平野、神出



同性カップルの権利保障をすすめる 神戸市ライフパートナー制度について

互いを人生のパートナーとして尊重しあい、日常生活において対等の立場で継続的な共同生活を営んでいる、または営むことを約束した関係の2人がライフパートナーとして市に対して宣誓を行い、市が受領証および受領カードを交付するものです。

この案では、3年ごとに関係が続いているのか調べるとなっています。市は、「同性愛者を差別しない」というなら異性婚と同じ条件にすべきです。異性カップルでは「同居の有無」は一切問われません。マイノリティだけに条件を付けるのは「差別」だとしてこの項目の削除を会派として求めました。

また、2人で育てている子どもが法的に認められない現実があります。だからこそ市のパートナーシップ制度で「双方が子どもの親であると認めることで安心できるのではないですか」と求めました。

市として制度をつくるにあたり婚姻の平等を求める団体にヒアリングをしっかりと行うべきであり、行政が一方向的に制度をつくるのは間違っています。ぜひ皆さんも意見をあげてください。



● 松本のり子までご相談ください ●

地域住民の情報拠点

としての図書館へ

神戸市は中央図書館以外の地域図書館については、指定管理者制度で運営しています。

ユネスコ公共図書館宣言は、「すべての人が書籍をはじめとする情報を、自由に利用できるようにすること」とあるように、地域図書館が貸し本屋になったり、学生の自習スペース提供場だけではいけません。

地域社会と住民生活を支える情報拠点としての役割をもっと積極的に果たすべきです。図書館の運営計画や政策立案について図書館専門家だけでなく利用者である住民も参画することが必要ではないでしょうか。読書活動の支援だけでなく地域のあらゆる課題に取り組む場所にすべきです。

また、地域図書館の司書は地域の特性を理解した選書や共同資料の研究などに対応するリファレンス力が求められます。しかし、市は地域図書館を民間委託しています。安い賃金で雇用するのではなく専門職としての処遇改善を求めました。

地域図書館は市の施設の中でも多くの市民が利用する場所

です。この場所を市民生活に密着するよう、例えばハローワークの仕事サポートや福祉に関する話しなど市民が必要と感じることの取り組みを求めました。

住民が参加した図書館協議会をつくり、図書館を地域の核にする取り組みにしていきたいと考えます。引き続きあるべき地域図書館の姿を求めていきます。



ふじすえひろみさんと東灘区図書館の前で



大ホールだけで350億円!?

移転・再整備でなく市民に親しまれた文化ホールを残して

三ノ宮駅前の雲井町5、6丁目のバスターミナルに大倉山の文化ホールを移転させる計画です。新しく作る大ホールは1800人入る予定です。また、その隣のビルには900人入る予定の中ホールを作る計画で、大ホールだけの事業費で350億円と言われています。現在公表されてない中ホールの整備費を含めると莫大な費用となります。今の大倉山の文化ホールは長年市民が親しんできた貴重なホールです。今の場所でも存続すべきです。

文化ホールの中ホールは天井が高く演劇、室内楽などに適した設備が備わり、奥行きのある舞台です。

演奏者の多彩な演技を生み出すことができ、舞台との距離を感じさせないホールです。市民に慕われた文化ホールは必要なところを改修して残すべきと質問しました。

現在の 利用料金	大ホール 2,043席	平日	295,000円
		土・日・祝	385,000円
	中ホール 904席	平日	147,000円
		土・日・祝	193,000円

終日の場合
(午前9時~午後10時まで)



松本議員の質問 > 市民や市民団体、学校行事などに気軽に利用できる料金として使われてきたが、利用料の値上げは考えているのか?

料金は条例で決めているが、今の金額を続けることは困難。なるべく値上げ幅はおさえない。

神戸市

「安心して働きたい」の思いに 応える神戸を

神戸市内の倒産件数は昨年度一年で120件、今年度は5月までに82件と急増し、**経済観光局も「倒産は年半期ペースで過去最多」と認めています。**西議員は、**物価高やインボイスで負担が増えている事業者への新たな支援制度**を求めました。ところが、局は「SNSでの相談も受け付ける」以外の対策を示しません

でした。西議員はさらに「それで倒産が減ると考えるのか」と問うと**「将来のことは答弁を控えます」と無責任な答弁。**

また、局はコロナ禍でお客さんが減っている夜の飲食店に三宮の再開発で**「人が来るかはわからない」とも答弁しました。**



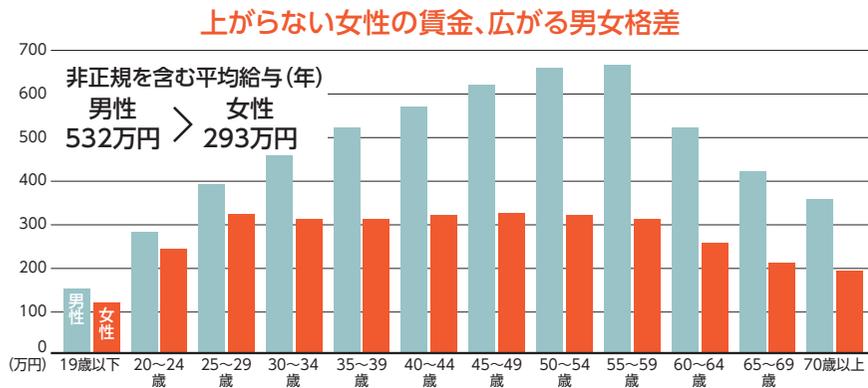
出典:「神戸の都心の未来の姿[将来ビジョン]」(神戸市)
<https://www.city.kobe.lg.jp/a55197/shise/kekaku/jutakutoshikyoku/kobetoshin/shouravision/index.html>

神戸市は、7000億円を超える三宮再開発を正当化するために、「夜も楽しめるまちの仕掛けで...まちのにぎわいを長く楽しむ。」**「地域商業の活性化」**につながる(「神戸の都心の未来の姿[将来ビジョン]」)と説明。しかし、三宮の数千もの夜間営業の飲食店は活性化しておらず、**廃業が進んでいます。**西議員は**「巨大開発はストップし、その一部でも事業者支援にお金を回せば、神戸市は発展する」と指摘しました。**



男女の賃金格差解消を

日本共産党が国会で繰り返し追及する中で、301人以上の企業の**男女間の賃金格差の公表**が決定しました。西議員は、さらに幅広い企業の公表を求めると同時に、**正規雇用を進める企業を増やすための支援制度**を提案。実は、神戸市は民間での正規雇用の拡大が必要としながら、**市自身が市職員を賃金の半分以上の非正規雇用に置き換えを進めています。**その多くが女性です。**男女間賃金格差がさらに広がる**点を追及しました。



出典:国税庁2020年分「民間給与実態統計調査」をもとに本村伸子事務所作成

30円もの 値上げは 許されない



バス利用者増は 地域課題の解決でこそ

交通局は、コロナ禍、燃料高騰の影響や少子化が進み、経営が厳しいことを理由に、**市バスで30円もの運賃値上げ**を検討中です。西議員は、「コロナ禍・物価高で苦しんでいる市民にさらに負担を押し付けることは許されない」と指摘。また、**万博と同様に、神戸市の巨大開発でも資材高騰が起きており、「1000、2000億円規模で上振れする」「そこに無駄な税金を使うのではなく、市民の足を守ることを、神戸の活性化につながる」と主張しました。**

1 甲南医療センターに一本でいける路線の設置を

渦森台、鴨子ヶ原、山手地域からは、一度阪急御影駅で乗り換えて、再度、山手行のバスに乗らなければいけない点を指摘。市は「何か工夫ができることはないかとは考えたい」と答弁。「31系統の始発を早めてほしい」の声も紹介し、改善を求めました。

2 御影山手住民の移動に責任を

山手6丁目へのバスの運行への要望は、高齢化でさらに強くなっています。東灘方面への運行も求めました。

安心して住み続けられる六アイを

この間、**トーホースタアの撤退、ファッションプラザ商業棟の改装オープン**など六甲アイランドは大きく揺れ動いています。参入予定のスーパーからは「**商圈として(購買力が)不安**」の声も。市が責任をもって街づくりに関わり、必要な支援をするべきです。

今議会では、六アイへの支所の設置、放置車両問題の解決を求めました。また、シティヒルのランニングコースの改修を求め、前進しました。



シティヒルの距離表示改修



六アイの声を届ける会で意見交流



トーホースタア撤退発表を受け、神戸未来都市機構へ施設の維持・存続を求めて申し入れ

2024年春「ロッコウアイパーク」開業予定

すずらん通信



森田たき子

日本共産党 神戸市会議員

発行／日本共産党神戸市会議員団 TEL 322-5847
神戸市中央区加納町6-5-1 神戸市議会内 FAX 322-6165



今年も残すところ、僅かになってきましたが、お元気で
お過ごしでしょうか。
11月議会が開催され国の補正予算を受け議案を審議しま
した。日本共産党市会議員団は、物価高騰が続くなか市
民生活を守るために奮闘して来ました。私が担当する都
市交通常任委員会での一部をご報告します。



市バス料金の値上げ・ 便数減少はストップを

人口減少で利用客が減ったことや
厳しい財政事情などを理由に「市バ
ス料金の30円値上げ」や兵庫区・長
田区で「バス路線50本を減便」する
計画が進められています。「買い物
に行く日を減らさないといけない」
など切実な声広がっています。

市民の足を守
る公共交通の目
的を後退させ、
物価高騰が続い
ている中で、更
に負担を強いる
値上げは中止す
る様に求めまし
た。



（陳情の各会派の態度）
市民から出された「市バス運賃値上
げ中止」の陳情は、日本共産党だけ
が賛成。自民・維新・公明・こうべ
未来・つなぐが審査打ち切り。

公立幼稚園13園の 廃止やめよ

神戸市は保護者の願いである「3
歳児保育」「預かり保育時間の延
長」を実施しないなかで、市立幼稚
園の児童が減少しているとして、13
園の市立幼稚園を2028年までに
廃園する案を発表しました。

廃園案が発表された13園

- 【西区】 太山寺、櫛谷、おしんべ、
平野、神出
- 【垂水区】 たるみ
- 【灘区】 六甲山
- 【長田区】 西野
- 【北区】 山田、からと、道場、八多、
大沢



12/1 都市交通委員会

学園都市ユニティの 事業継続を！

学園都市駅に隣接したユニティの
協議会（5大学1高専）は、財政問
題などで「来年3月末、神戸市に返
還し閉館する」と発表しました。利
用者さんからは、事業の継続を求め
署名活動や陳情も出されています。
大学相互、大学と市民の交流と地
域コミュニティを目的に学生や大学
関係者、市民のみなさんが広く利用
しています。語学講座や公開講座に
ついては、実施場所が足りず困って
います。神戸市はユニティの場所を
提供し「貸し館サービス」について
も「こども食堂」や「学生への食料
支援」など引き続き利用できる様に
すべきだと求めました。



（都市局） 今後の方向については、
庁内で一体的に検討し街の活性化に
繋げる様にしたい。

食品スーパー「トーホー」が 閉店!

(株)トーホーが神戸市内で11店舗を閉店すると公表しました。西区では、西神中央の「たけのプラザ」「かりばプラザ」「みかたプラザ」にある3店舗が対象です。地域の衰退に繋がり住民への影響は深刻です。

こうべ未来都市機構に10月27日スーパーの維持継続を求め、申し込みを行いました。



93歳の方から「困ります助けて下さい」と訴えがあり常任委員会で、団地開発した神戸市は積極的にスーパー誘致を進めるように求めました。

要望書を提出する森田たき子市議とひびゆうこ国政対策委員長(左)

(都市局) 地域の皆さんからの「テナントを誘致して欲しい」は承知している。閉店はどこが何時とは公表されていない。粘り強く考えていきたい。

日本共産党神戸市議員団 森田たき子定例駅頭 市政報告

- ★西神中央駅 毎週火曜日 7時～8時
- ★学園都市駅 毎週金曜日 7時～8時

ご相談があればお気軽に
お声をおかけください



市営住宅に

網戸の設置を

市営住宅の設備については、国の「公営住宅等整備基準」に従っていますが詳細な部分は神戸市が決めています。コロナ禍の中で機密性が高く湿気やすい部屋の換気は大切です。今年度は「カメムシ」発生で更に大変だった為、「網戸」の設置を求めました。



(建築住宅局) 予算もあるが時代の流れで検討していく。

地域要求の実現

- ①「王塚台2丁目」で接触事故多発
 - ②「枝吉2丁目」の歩道が雑草が伸びて通れない
- と住民の方から改善を求める声が届けられ地域の皆さんと危険な現場を視察し西建設事務所にて改善を求めました。
- 歩道の草刈りは済み、事故の現場は側道の植栽を低くし見通しをよくする対策がとられました。(左の写真)

①



②



物価高騰で苦しむ市民をさらに苦境に陥れる 市バス・水道料金の値上げやめよ!

12月8日に神戸市会本会議がひらかれ、日本共産党神戸市会議員団を代表して松本のり子議員と西ただす議員が一般質問に登壇しました。

物価高騰が暮らしと営業を直撃し、市民の生活に深刻な打撃となっています。このような時に神戸市は、人口減少を理由に、日々の暮らしに必要な市バスの運賃と水道料金の値上げを進めようとしています。人口減少の中で「独立

採算制」を根拠に進めていけば、市民に負担を求めるか市民サービスの縮小しかありません。松本議員は、市民サービスを維持するためには、神戸市が責任をもって負担すべきと質しました。

松本議員が 一般質問



質疑項目

1. 物価高のもとでの市バス・水道料金の値上げ中止について
2. ライフパートナー制度について
3. 地域図書館について

能や認知機能の低下だ。市民の健康がどうなるのか、医療や介護保険の増加など、施策全体で考えて財政計画をつくるべきだ。

今西副市長：できるだけ健康な高齢者に外出していただくために敬老パスで支援している。

松本議員：本当に市民の声を聞き神戸市全体でどのような変化が起きるのか検討したのか。

今西副市長：できる限り影響を考慮しながら予算編成をおこなっている。

松本議員：水道にしても兵庫県は供給単価を下げているのに神戸市が上げるのはどうなのか。神戸市は去年から始めた三宮周辺の市バス運賃を半額にする実証実験の目的は「まちづくり施策に寄与」することだ。本当のまちづくりは、その地域に住む人にどう寄り添うかだ。

含めて家族として宣誓する「ファミリーシップ」制度を

実施すべきと質しました。

答弁ダイジェスト

松本議員：定期連絡に何も返事がないカップルにどのような対応を検討しているのか。

小原副市長：3年ごとの定期連絡は制度の信頼性を確保することと、サービスの情報提供やお困りごとのニーズ把握のためだ。対象者の要件に該当しない、もしくは虚偽の事実が判明した時には当然受領証の返還を求める。

松本議員：悪用されないよう徹底的に調べようという姿勢は絶対にやめるべきだ。今回ファミリーシップ制度がないもとで、パートナーの子の保育園の迎えで（家族として）認めてもらえないことや、パートナーの子と養子縁組をすると、この子の親権は養子縁組した方に移り、カップルを解消した時に親権が戻らなくなるという弊害がある。
(2面につづく)

答弁ダイジェスト

久元市長：地方公営企業は独立採算制を原則とし、一般会計からの基準外繰り出しは適当ではない。

松本議員：ヨーロッパなどでは、住民の移動を公的に支える制度としてバスを無料にしている。一般会計からの繰り入れをすべきだ。またパリでは、市民が通勤に使うバスや鉄道は企業に負担を求めている。神戸市でも大手企業に対して地域公共交通を守る基金をつくり財政を確保しては

どうか。

久元市長：わが国でも公共交通を公的負担すべきだという議論は強くなっているが、市単独で新たな制度を設けるには法律上の制約もあり、沿線の企業に負担を求めることに理解が得られるかは研究しなければならない。

松本議員：一般会計の投入がなければ、さらにバスを減らすか利用者に負担をかけるしかない。生活が厳しい中で値上げで考えられるのは、外出が減る高齢者の身体的機

ライフパートナー制度

性的マイノリティの方も 法律婚と同じような制度に

神戸市は、ライフパートナー制度の素案を公表しました。この制度は、お互いを人生のパートナーとして尊重し、共同生活を営む二人が市に宣誓し、市が受領証を交付するものです。素案では、3年ごとに関係が続いているのかを確認する連絡をおこな

うとしています。他の政令市では「法律婚と異なる対応はすべきでない」と定期的な確認はしません。松本議員は、3年ごとの確認事項は取り除くべきと求めました。また、素案では、カップルの子どもについては認める制度になっていないことから、子どもを

小原副市長：市独自の制度で法的効果はなく、その子ども意思確認についても第三者が関与する仕組みではない。子どもを含めた制度にす

るには十分慎重な検討が必要だ。

松本議員：自分の意思で自分の親だと言える年齢に達していたら認める自治体もあ

る。愛し合う二人が結婚したい、ただ家族として生きていきたい、それを国が認めないのは不当な差別だ。同性婚を認めても社会は何も変わらな

いし、幸せになる人が増えるだけだ。そういった観点で寄り添い、よい制度をつくるべきだ。

「消費税減税」「インボイス中止」を国に求め、経営困難な事業者へ支援を

質疑項目

1. 物価高などで苦しむ市内事業者支援について
2. 六甲アイランドの活性化について
3. 神戸製鋼石炭火力発電所について

原油高や物価高に加え、インボイス制度の導入やコロナ時の融資返済が求められる中で、多くの事業者が経営困難となっています。事業者の皆さんからは、「消費税減税」と「インボイス中止」を求める声があがっています。現在日本は長期の経済低迷・国民生活の悪化の中にあり、その大きな原因は繰り返されてき

た消費税の増税です。西議員は、消費税の減税こそが物価高騰から市民の暮らしを守り、市内経済を立て直すために最も有効な中小事業者対策だと追及しました。また、阪神電鉄が御影高架下の旨水館などに一方的に退去を求めている問題で、事業者らの立場から市が話し合いに関わるよう求めました。

西議員が一般質問



は承知しているが、消費税減税は国が判断することだ。

西議員：事業者からは電気代や家賃などの直接支援を求める声があがっている。市としてこの声に応えるべきだ。

今西副市長：市だけでなく、国県との連携によって展開していくことが重要だ。

西議員：御影の旨水館で話を聞くと、地域に密着した商店だから、物価が上がっても価格転嫁ができないと言う。こういった神戸経済を支えている皆さんが新たな支援を必要としている。

今西副市長：市でも経済・各種業界団体との意見交換をしている。今後も国県の施策の動向も見極めながら必要な支援策を検討していきたい。

西議員：現下で起こっている状況には対策せず、バス料金・水道料金の値上げでさらに事業者の生活が苦しくなる。三宮周辺はバス料金を安くしたのは、まちづくりに寄与してるからというが、本来多くの事業者がそうだ。その皆さんの経営を応援する姿勢で支援をすべきだ。

答弁ダイジェスト

西議員：消費税は社会保障の安定のためとしてきたが、国保料・介護保険料は軒並み上がり、年金は下がっている。そのうえ今年10月からイ

ンボイスまで導入された。神戸の事業者を応援するために消費税減税とインボイスの中止を国に求めるべきだ。

久元市長：中小事業者の皆さんが決して楽ではないこと

六甲アイランド

住みやすいまちづくりを目指すなら、住民の願いに応えた施策を

六甲アイランドでは、「学童の過密解消」や「給食をもっといいものに」といった子育て環境の改善を求める声があがっています。また、「バスやライナーが高い」という交通に対する願いも強くあります。西議員は、神戸市が

「子どもから高齢者まで、誰もが住みやすいまちづくり」を掲げるのであれば、学童保育の拡充や、バス事業者への敬老・福祉パスの適用を求めるなど、住民の願いに応えるべきと求めました。

か。

小原副市長：登録児童数が増えてきているのは指摘の通りだが、増加に合わせてコーナーの新設や専用棟を確保するなど充実も進めているので、条例・ガイドライン基準は守られている。

西議員：市の実績では子育て環境の項目の進捗だけが遅れている。正面からこの問題に向き合い、必要な施設をつくって子育てしやすい街だと胸を張って言えるようにしてほしい。みなと観光バスは、島から出るためにも大事なものだ。敬老・福祉パスの適用を進めるべきだ。

小原副市長：敬老・福祉パスの適用にはさまざまな課題

があり、関係する交通事業者との協議を丁寧に進めていく必要がある。現在対象となっていない路線バスにも実現していけるように引き続き取り組みを進めていきたい。

西議員：社会的参加と真剣に向き合う時代にきている。高齢化も進み、街としての魅力を考えた時に、山と海に囲まれた神戸で安心して移動できることが神戸の強みになってくる。そして同時に身近なところに必要な施設がほしいという思いにも応えるべき。今神戸市は人口減少といわれているが、本当の意味で活性化させるには市民を応援することだ。

答弁ダイジェスト

西議員：先日、向洋児童館で一番の問題を聞いたら「狭いこと」だと言っていた。実

際6年間で生徒数は1.7倍に増えている。神戸市のアンケートでも子育て施設の拡充が求められているのではない



水道料金 バス運賃 値上げに断固反対です!



「経」 営が厳しい]ことを理由に値上げをしいのでしょうか?水道料金は、平均16.9%アップ・3人世帯で年5,610円値上げに。バスの運賃は210円を240円にする案が出されています。物価高騰が暮らしと営業を直撃しています。日本共産党市議団は値上げに断固反対です。



性的マイノリティ、事実婚の カップルにとって住みよい神戸に



「同」 性婚の実現を求める声が高まるもと、性的マイノリティのカップルを、“婚姻相当の関係です”と自治体が認める同性パートナーシップ制度が希望を広げています。神戸市も性的マイノリティ、事実婚のカップルなどを対象にした制度を策定しました。これまで受けられなかった行政サービスが利用できるようになる契機にもなります。しかし、神戸市は3年ごとに関係が続いているのかどうかを確認するためにカップルに連絡を取る制度としました。これには、「毎回圧力をかけるようなもの」「そのカップルに対して失礼だ」「人権侵害」などという声が出ています。日本共産党市議団は「法律婚」と同等の権利を認めるよう求めています。



垂水区民の願いを真っ直ぐに届ける懸け橋に

ご相談・ご要望は赤田かつのり市議へ。

- 場所** 日本共産党 垂水区生活相談所 陸ノ町1-27 電話:705-1700
- または** 日本共産党 神戸西地区委員会 坂上4-2-16 電話:753-5287



福祉環境委員会で質疑する赤田議員

公立の幼稚園

たるみ幼稚園の 廃園をゆるさない!



たるみ幼稚園
2003年に上高丸幼稚園と垂水幼稚園を統合して、旧西高丸小学校跡に設置しました。

神戸市は市内にある13の市立幼稚園(別表)を「園児が減少している」ことを理由に閉鎖しようとしています。垂水区では神戸市立たるみ幼稚園(高丸6丁目)を2026(令和8)年度末に閉鎖する計画です。「そんな計画、全く知りませんでした」「園児数が少ないことを理由に廃園をしないでください」「園児を増やす努力を教育委員会はしてきたのですか?」「発達障がいの子どもを見ていただける幼稚園は少ないので、困ります」「3年保育をしてくださるのなら、公立に行かせたいと思っている人も少なからずいます」…。同園の保護者説明会でも不安と疑問が渦巻いていました。

昨年の12月15日まで神戸市が実施した市民意見募集(パブリック・コメント)でも、「公立幼稚園はなくさないで!」などの意見が世代を超えて届けられています。日本共産党市議団は、市内13の公立幼稚園の廃園計画を撤回させ、地域に根差した3年保育を実施する幼稚園になるように、強く求めています。



- (別表)廃園対象の市立幼稚園**
- 【垂水区】たるみ
 - 【灘区】六甲山
 - 【長田区】西野
 - 【北区】山田、からと、道場、八多、大沢
 - 【西区】太山寺、櫛谷、おしんべ、平野、神出

- <近年に廃園になった市立幼稚園>
- 2013(平成25)年 たもん幼稚園
 - 2020(令和 2)年 多間ひまわり幼稚園
 - 2021(令和 3)年 奥の池幼稚園

園児のお母さんたちから意見を聞く赤田議員

神戸市会議員

赤田かつのり

すぐに動きます。
いつでも、あなたの力に。
KATSUNORI AKADA

ご存知ですか？ 次々に壊されようとしている 垂水区内の公共施設

垂水学校給食共同調理場の廃止

老朽化を理由に約4,000食分の小学校給食を作っている同センターを廃止しようとしています。西区見津が丘の神戸テクノロジスティックパーク内に新設される「第二学校給食センター」から各学校へ給食を配送することに。



垂水学校給食共同調理場

本多聞3丁目市営住宅の1号棟から8号棟(142戸)までを廃止



水道局垂水センター跡地

広大な敷地面積の同センター跡地。昨年、建物の解体と土地の売却計画が発表されました。近隣にお住まいの方にもほとんど知らせてこなかったことが市議会で明らかに。



水道局垂水センター

アジュール舞子は市民のための都市公園

舞子公園の松林を背景に、明石海峡大橋、淡路島、孫文記念館(移情閣)などを見渡せます。バーベキュー、散歩、初日の出の見物、釣りに海水浴…市民に親しまれているアジュール舞子。今後、民間の事業者を公募して、エリア全体の活用を見直す計画が浮上しています。

神戸空港の「国際化」によって「訪日外国人旅行者(インバウンド)」が来るからという理由のようですが…



アジュール舞子

たるみ幼稚園



新垂水図書館に原付駐輪場などができる一方で、向かい側の駐輪場(日向駐輪場)は廃止に

垂水小学校の給食室廃止

改修工事中の垂水小学校(垂水区日向)。しかし、給食室が廃止されてしまいました。現在、垂水学校給食共同調理場(狩口台)から給食を調達しています。



要望しています

- 学校給食費、子どもの医療費を完全無料に。
- 学校内で作って子どもたちに届ける給食を。
自校調理方式や親子方式で給食を実施する中学校を増やしていきます。
- 小中学校で20人程度の少人数学級の実施を。
- トーホーストアー撤退後の店舗の確保。



垂水駅前

日本共産党議員団の申し入れや市会での質問に対して「トーホー側に要望書を提出し、『後継テナントを探します』との回答を得た」と神戸市は答弁しています。買い物に困る人が出ないように頑張ります。

トーホー滝の茶屋店



申し入れをする共産党市会議員団



- 神戸市で補聴器購入助成制度を。
- 塩屋コミュニティバス「しおかぜ」に敬老パス・福祉パスが利用できるように。
- 带状疱疹ワクチンの接種助成を実施する自治体が増えています。神戸市での実施を求めます。
- スズメバチの巣の駆除に補助金の支給を。



神戸市の予算増額とともに国の社会保障費の大幅な増額を求めています。

“負担あって介護なし”の介護保険制度

今年から介護保険制度が改定されます。介護保険料は制度が発足した2000(平成12)年度以来上り続けており、また上がりかねません。市内の介護事業所の廃止や休止が増加しています。特別養護老人ホームの入居

資格は、2015(平成27)年に制定された医療・介護総合法で原則要介護3以上の人に制限されました。しかし入居を待ち望んでいる市民は減っていません。

介護保険料(月額基準額)

2000年度	2019年度	2022年度
3,137円	6,260円	6,400円

廃止された介護事業所数

	2021年度	2022年度
神戸市	103	110
垂水区	18	23

特別養護老人ホームの施設数と定員数及び待機者数

	施設数	定員数(人)	待機者数(人)
神戸市	128	7,635	2,889
垂水区	21	1,137	261

※施設数と定員数は2023年8月1日時点。待機者数は同年3月末時点。

障がい者グループホームの増設を

まだまだ整備が追い付いていません。特に、「日中サービス支援型」(24時間サービスを提供できるグループホーム)が足りません。「息子の将来が心配です」(精神に障がいを持つ子の母親)。安定した運営を支援し、利用者が安心して暮らせるホームの整備を急ぐ必要があります。



市会かわら版

日本共産党 神戸市会報告 灘区版

2024年1月第23号

長引く物価高騰に、「給料は上がらないのに、暮らしが大変」「年金は下げられているなかで、これでは暮らしていけない」と悲鳴があがっています。

自民党政治のもとで30年という長期にわたる経済の停滞と衰退——いわば「失われた30年」で、暮らしの困難が続いているところに、物価高騰が襲いかかり、さらに神戸市は水道料金・市バス運賃を上げようとしています。

今こそ、政治の責任で賃上げと待遇改善をすすめ、消費税減税、社会保障充実、教育費負担軽減で市民の暮らしを応援しなければなりません。

2024年は、政治を変え、一人ひとりの市民が希望もてる神戸へ、本年も力を尽くして頑張ります。



あじ ぐち

神戸市会議員

味口としゆき

大学誘致 より

王子公園・王子動物園の充実を

灘区のみなさんとともに取り組んでいる

署名は74000人を 超えました

灘区のみなさんの王子公園や動物園への愛着と誇りをたくさん聞いてきました。

神戸市長は、「多少の反対があっても王子公園には大学を誘致しなければいけない」と答弁しました。7万を超えるみなさんの願いを「多少の反対」と切り捨てることは絶対に許されません。



「みんなの王子公園&動物園の会」とともに、神戸市に署名を提出 10月26日



「大切な公園・動物園を奪わないで緊急市民集会」で、報告する味口としゆき議員 10月15日



「こわさんといて!王子公園市民パレード」で訴える味口としゆき議員(後ろ・左上)、ふじすえひろみ党兵庫1区ジェンダー平等委員長(前・真ん中)

味口としゆき議員の 市議会での論戦で 浮き彫りに!



1 **大学誘致が優先され、動物園面積は増えない**

現在130種程度飼育している動物のうち46種を譲渡などで半減。動物園の充実と、完全に逆行。

2 **遊園地は存続されません**

子どもたちの遊び場を犠牲にする計画でいいのでしょうか?

3 **スポーツ施設は軒並み廃止・縮小
プールと相撲場は廃止**

スタジアムは400mトラックが8コースから4コースに縮小。プール・相撲場は廃止。テニスコートも6コートから2コートに縮小され、なんと駐車場の屋上へ移転。



4 **原田の森、桜の木の伐採が進められる**

移植含め樹木1343本は維持するとしていますが、どれだけ伐採されるかは明らかになっていません。



5 **六甲山系の景観は守られず、
地域の環境悪化も**

大学の建物の高さは最大31m(7階程度)とされています。これでは六甲山の山並みが見渡せません。スタジアムの移動で、騒音などの影響も心配です。

灘区のみなさんの願いは、大学の誘致ではなく「王子公園・王子動物園の充実」です。引き続き、灘区のみなさんと力を合わせて、がんばります。



神戸市は、来年度予算案で、水道料金や市バスの運賃を値上げしようとしています。物価高騰で市民の暮らしや営業が大変な時に、公共料金の値上げなど絶対にすべきではありません。

味口としゆき議員は、議会で繰り返し、「公共料金の値上げはやめよ」と追及しています。



鶴甲会館でタウンミーティングを行う味口としゆき議員

物価高騰なのに、公共料金値上げ!



- ▶ 水道料金 (平均 16.9%) UP
3人世帯で年間5,610円程度
- ▶ 市バス (30円程度)
運賃引き上げ
- ▶ 国保料の独自減免廃止 など

一方で議員期末手当は引き上げ

自民党、公明党、こうべ未来の提案により、議員の期末手当(ボーナス)を4.35か月から4.45か月に引き上げる議案が強行されました。日本共産党市議団は反対しました。

市民には負担増を求めながら、議員のボーナスを引き上げるなんて、許されるものではありません。



給食無償化の運動がすすみ、2022年度に完全無償化を実現した自治体は、全体の3割に上っています。「学校給食無償化」署名は、2万5千人分も集まり、子育て世代の熱い願いになっています。味口としゆき議員は、10月2日決算特別委員会・教育委員会審査で、「子育てがしやすい環境のためにも、給食費の無償化をぜひやるべきだ」と強く求めました。

駅前や学校前で給食無償化を求める署名を集めています!



高羽小学校前

成徳小学校前

署名中に寄せられた声

「神戸市は子育て応援が弱いよね」
「教育費の負担は限界を超えている」



味口としゆき議員は、灘区のみなさんから寄せられた声を議会に届け、「学校給食の完全無償化」実現へ頑張ります。



「非核神戸方式を守る神戸から平和の声を」と訴える味口としゆき議員、ふじすえひろみ党兵庫1区ジェンダー平等委員長(右)

なんでも相談会
やっています
くりし、お仕事、ご商売、学校や子育てなどお気軽にご相談ください!

日本共産党 東灘・灘・中央地区委員会

(神戸市灘区灘南通5-2-2-1)

- 1月20日(土)午後1時~3時
- 2月18日(日)午前10時~12時
- 3月23日(土)午前10時~12時



弓木相談会 (神戸市灘区弓木町2-3-16)

104号室をお借りしています

- 1月21日(日)午前10時~12時
- 2月17日(土)午前10時~12時
- 3月24日(日)午前10時~12時



みなさまのご意見をお待ちしております

- 日本共産党 東灘・灘・中央地区委員会
TEL.078-881-2581 FAX.078-882-5402 E-mail:aji1020@hotmail.co.jp
- 市会控室 TEL.078-322-5847 FAX.078-322-6165



2024 平和な未来と 希望ある暮らしを拓く 希望ある年に

日本共産党 神戸市会議員団

「賃上げと社会保障の充実へ」—岸田首相は、経済停滞の原因に30年来の「コストカット型経済」を挙げました。財界の目先の利益最優先に雇用の非正規化と福祉の削減をすすめてきた自民党政治の責任と転換が問われています。

「戦争ではなく対話を」—国連総会では、アメリカが拒否権で葬り去ろうとしたイスラエル・ハマスの「即時の人道的停戦」の決議が153カ国の賛成で採択されました。

日本共産党の機関紙「しんぶん赤旗」のスクープをきっかけに、自民党のパーティー券・裏金疑惑が明るみにだされ、政治腐敗の根源である企業・団体献金の全面禁止が焦点になっています。

財界・大企業とアメリカいいなりのゆがんだ政治を変えて、一人ひとりの市民が希望のもてる神戸へ、力を尽くして頑張ります。本年もどうぞよろしくお願いたします。

子育て環境の改善と教育費軽減へ



久元市長は人口減の原因に「社会保険料が増えて実質手取りも減る」など「子育て世代の経済的理由」があると認めました(2023年5月23日記者会見)。また、2万5千筆もの「学校給食無償化」署名が力になり、神戸市として初めて「国に給食無償化」を要望しました。



- ▶ 水道料金(平均16.9%アップ。3人世帯で年5610円の負担増)値上げ
- ▶ 市バス(30円程度)運賃引き上げ ▶ 学校給食費の値上げ
- ▶ 国保料の独自減免廃止 など

政治の責任で「賃上げ」「待遇改善」を

「コストカット」で停滞する経済のもと、物価高騰が直撃し、市民生活に深刻な打撃となっています。今こそ政治の責任で、賃金の引き上げや非正規ワーカーの待遇改善で暮らしと経済を立て直すことが求められています。

暮らしが大変な時に、神戸市は来年度予算で、水道料金とバス運賃を大幅に値上げしようとしています。日本共産党神戸市議団の松本のり子議員は、久元市長が言うように「人口減」を理由にすれば、際限のない料金値上げとサービス後退しかないとし市議会本会議で指摘。市民の税金は暮らしにつかい、公共料金の値上げ計画を中止するよう求めました。



12月8日 一般質問に登壇する松本のり子議員

消費税減税・社会保障の充実

日本共産党神戸市議団の西ただす議員は、社会保障の充実と教育費軽減とともに、消費税減税・インボイス中止こそが暮らしを守り、経済を立て直すもっとも有効な対策だと本会議で強調。「地域密着で物価があがっても商品に転嫁しにくい」などの東灘の商店の声も紹介し、神戸市独自の家賃補助や直接支援制度を行うよう求めました。



12月8日 一般質問に登壇する西ただす議員

自民党・公明党・こうべ未来(立憲・国民)

市会議員の期末手当の引き上げを 与党が提案 4.35か月→4.45か月



日本共産党の大かわら鈴子議員が反対討論

自民党・公明党・こうべ未来(立憲民主党・国民民主党)の33名の市会議員が、自らの期末手当を引き上げる議案を提案しました。

日本共産党神戸市議団を代表して大かわら鈴子議員が反対討論に登壇し、水道料金・バス運賃値上げ中止や幼稚園廃園の撤回など、市民の願いである陳情を反対や打ち切りで背を向けながら、議員の期末手当の引き上げを自らおこなうことに市民の理解は到底得られないと厳しく批判しました。

12月6日 反対討論する大かわら鈴子議員

11月議会で審査された主な陳情への各会派の態度	共産	自民	維新	公明	こうべ未来
水道料金値上げ中止を求める陳情	○	打切	打切	打切	打切
市バス運賃の値上げ中止と、長田・兵庫の減便中止などを求める陳情	○	打切	打切	打切	打切
大学誘致ありきの王子公園再整備計画の中止を求める陳情	○	×	×	×	×
学校給食無償や学校調理の中学校給食などを求める陳情	○	×	×	×	×
市立幼稚園の廃園方針(案)について地元意見を聞いた検討を求める陳情	○	打切	打切	打切	打切
学園都市UNITYの存続を求める陳情	○	打切	打切	打切	打切

(○:賛成、×:反対、打切:審査打ち切り。こうべ未来は、立憲民主党、国民民主党所属の議員会派)

みんなが声上げれば政治は 変えられる!



ふじすえひろみ党兵庫1区ジェンダー平等委員長、きた結前県会議員と「こわすな王子公園!市民パレード」に参加する日本共産党神戸市議団(11月18日)

温かい学校調理の給食を無償で子どもたちに
—学校門前で署名にとりくむ日本共産党神戸市議団(11月3日)



気候危機打開・ジェンダー平等の神戸を

気候危機、食料危機の打開は、国民の命を守るうえでも、地球規模での責任を果たすうえでも、避けて通ることのできない課題です。「グリーンウォッシュ」(見せかけの環境対策)といわれる日本の化石燃料に固執する姿勢に批判が強まるもと、神戸市内に排出されるCO²をはるかに超える量のCO²を排出する神戸製鋼石炭火力発電所の停止・廃止は待ったなしです。

男女の賃金格差を是正し、女性の賃金を底上げするなどジェンダー平等を求める世論と運動がひろがっています。神戸市も、事実婚や性的マイノリティのカップル宣誓制度「ライフパートナー制度」を開始。日本共産党神戸市議団は、3年おきの「点検」連絡の撤廃や、カップルと子どもとの関係を証明するなど、「法律婚」に相当する制度に改善するよう求めています。



地域のスーパーの存続を—トーホー撤退に対して神戸市に緊急要望する日本共産党神戸市議団(10月27日)



三宮再開発を見直し、地域とくらし応援の市政に転換を—2024年度神戸市予算編成にあたっての要望書を市長あてに提出(11月20日)



市立幼稚園の存続を—神戸市が2028年度までに13園を廃止する計画案を公表。「再編対象」となった幼稚園前で、保護者から存続を求める願いをきく日本共産党神戸市議団(10月11日)



ガザ攻撃中止と即時停戦を—たけうちゆみこ党兵庫2区平和・くらし委員長、かとうけんじ党兵庫3区国政委員長、ひびゆうこ党兵庫4区国政委員長と、神戸市役所前で訴える日本共産党神戸市議団(11月6日)

お困りごとや
ご相談は私たちまで

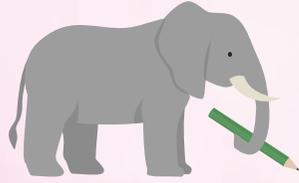
みなさんの声を市政に届けます

<p>地域の文化と暮らしを支える図書館充実を</p> <p>12月8日 本会議</p> <p>東灘区</p> <p>松本のり子 議員 TEL414-8875</p>	<p>住民目線で六甲アイランド振興へ</p> <p>12月8日 本会議</p> <p>東灘区</p> <p>西ただす 議員 TEL414-8875</p>	<p>大学誘致ありきの王子公園再整備見直しを</p> <p>11月30日 建設防災委員会</p> <p>灘区</p> <p>味口としゆき 議員 TEL881-2581</p>	<p>外郭団体のムダづかい検証を</p> <p>11月13日 外郭団体に関する特別委員会</p> <p>兵庫区</p> <p>大かわら鈴子 議員 TEL577-7987</p>	<p>兵庫・長田のバス路線の統廃合やめよ</p> <p>12月1日 都市交通委員会</p> <p>長田区</p> <p>森本 真 議員 TEL642-1466</p>	<p>済生会病院の移転統合は中止を</p> <p>11月30日 福祉環境委員会</p> <p>北区</p> <p>朝倉えつ子 議員 TEL591-4755</p>	<p>学校給食の無償化を</p> <p>12月1日 教育子ども委員会</p> <p>須磨区</p> <p>前田あきら 議員 TEL732-6578</p>	<p>市独自で暮らし応援給付金が必要</p> <p>11月30日 福祉環境委員会</p> <p>垂水区</p> <p>赤田かつのり 議員 TEL753-5287</p>	<p>UNITYの講座と貸館サービス継続を</p> <p>12月1日 都市交通委員会</p> <p>西区</p> <p>森田たき子 議員 TEL919-6650</p>
--	---	---	--	---	---	---	--	--



大学誘致より王子公園・動物園の充実を！ 王子公園再整備計画に反対の声、署名74283筆！

神戸市は市民の声を聞かず、再整備の計画(①動物種を半減 ②遊園地が存続されない ③スポーツ施設は廃止・縮小 ④桜など樹木の伐採)を発表。立体駐車場による景観悪化や新設スタジアムの騒音問題なども心配されています。しかし、神戸市長は「多少の反対があっても王子公園には大学を誘致しなければいけない」と答弁しました。署名7万筆を超えるみなさんの願いを「多少の反対」と切り捨てることは絶対に許されません。引き続き、みなさんと力をあわせて頑張ります。



◎陳情第42号「王子公園再整備基本計画(案)に関する陳情」

(陳情に対する各会派の態度 ○採択 ×不採択 ■審査打切 -委員なし)

共産	自民	公明	維新	未来	つなぐ	結果
○	×	×	×	×	○	不採択

日本共産党=共産、自由民主党=自民、公明党=公明、日本維新の会=維新、
こうべ未来=未来(立憲民主党、国民民主党所属の議員会派)



公立幼稚園13園の廃止やめよ

神戸市は保護者の願いである「3歳児保育」「預かり保育時間の延長」を実施しない中で、市立幼稚園の児童が減少しているとして、13園の市立幼稚園を2028年度までに廃園する案を発表しました。保護者からは「なくさないでほしい」「ほかの園で断られて、やっと通えているのに」と急な決定に戸惑いの声があがっています。保護者の方から陳情が提出され、日本共産党市会議員団は、市立幼稚園の統廃合ありきの方針案と市立幼稚園の廃止に反対し「採択」を主張、共産党以外すべての会派は保護者の願いを「審査打切」にしました。保護者、地域の声を踏まえ、方針(案)は見直すべきです。安心して預けられ、住み慣れた地域で通える市立幼稚園の存続へ、ご一緒に声を上げていきましょう。

- 西区** 太山寺、榎谷、おしんべ、平野、神出
- 垂水区** たるみ **灘区** 六甲山
- 長田区** 西野
- 北区** 山田、からと、道場、八多、大沢

◎陳情第37号「今後の幼児教育・保育における市立幼稚園について(方針)案について、地元の声をよく聞いた上での検討を求める陳情」

(陳情に対する各会派の態度 ○採択 ×不採択 ■審査打切 -委員なし)

共産	自民	公明	維新	未来	つなぐ	結果
○	■	■	■	■	-	審査打切

日本共産党=共産、自由民主党=自民、公明党=公明、日本維新の会=維新、
こうべ未来=未来(立憲民主党、国民民主党所属の議員会派)

ガザに世界に平和を

イスラエルのガザ地区への攻撃が続き死者は18,000人を超え多くの女性や子ども達が犠牲になっています。

「ジェノサイドの中止」「即時停戦」を求める声が国内外で大きくなっています。非核神戸方式を守る神戸からも引き続き声を上げていきましょう。



平和を訴える森田たき子議員(右)、ひびゆうこ党4区国政委員長(右から2人目)

お気軽にご相談ください

西区事務所 西区玉津町高津橋297-12 TEL 919-6650 FAX 918-3772

市民のくらしといのちを守る市政へ、 いまこそ転換を！



市バス運賃の値上げ・便数減少はストップを

11月議会が開催され、国の補正予算を受けた議案を審議しました。日本共産党市会議員団は、物価高騰が続くなか市民生活を守るために奮闘してきました。

人口減少で利用客が減った事や財政事情などを理由に、「市バス料金の30円値上げ」や兵庫区・長田区で「バス路線50本を減便」する計画が進められています。「買い物に行く日を減らさないといけない」など切実な声があがっています。市民の足を守る公共交通の目的を後退させ、更に市民負担を強いる値上げなどは中止するように求めました。



一般質問(10月24日)

◎陳情第43号「市バス運賃の値上げ中止とバス路線の充実を求める陳情」

(陳情に対する各会派の態度 ○採択 ×不採択 ■審査打切 -委員なし)

共産	自民	公明	維新	未来	つなぐ	結果
○	■	■	■	■	■	審査打切

日本共産党=共産、自由民主党=自民、公明党=公明、日本維新の会=維新、こうべ未来=未来(立憲民主党、国民民主党所属の議員会派)



有機フッ素化合物PFAS問題 市民の命を守るため、発生源の 特定・規制と健康調査早急に！

神戸市は、2020年から毎年4回、明石川と伊川の8か所で化学物質PFAS(ピーファス)のうちPFOS(ピーフォス)とPFOA(ピーフォア)を測定しています。PFASは体内に長期間残留し、幼児や胎児の成長低下、腎臓がんのリスクの増加など国際的な知見が出て、日本でも製造や輸入が禁止となっています。日本では環境省が暫定目標値を定めていますが、西区の中津橋や藤原橋など多くの場所で基準値を超える数値が出ています。森田議員は、発生源を特定し、規制するよう強く求めました。

森田たき子 定例駅頭 市政報告

* **西神中央駅**
毎週火曜日
7時~8時

* **学園都市駅**
毎週金曜日
7時~8時

神戸市会議員 もりた たきこ

森田たき子



日本共産党 神戸市会報告

西区版 2024年 冬春号

安心して続けられる農業に 支援強化で、食料自給率の向上を

日本農業の危機が急速にすすみ、農業従事者は減少しています。日本の食料自給率はカロリーベースで38%と、異常な水準まで低下し、神戸市の農業も危機的な状況になっています。森田議員は、23年間神戸市が独自で実施してきた価格保障と所得補償をする「神戸市野菜栽培契約事業」の復活を求めました。局長は「役割を果たした」と後ろ向きな答弁に終始しました。厳しさが続く今こそ、市が独自支援として価格保障と所得補償をおこない、神戸市の農業を強化すべきと質しました。



農業従事者から実態を聞く森田たき子議員

食品スーパー「トーホー」が閉店!市の責任でスーパーの誘致を



申し入れをおこなう森田たき子議員(中央)、ひびゆうこ党4区国政委員長(左)

(株)トーホーが神戸市内で11店舗を閉店すると公表しました。西区では、西神中央の「たけのプラザ」「かりばプラザ」「みかたプラザ」にある3店舗が対象です。地域の衰退に繋がり住民への影響は深刻です。こうべ未来都市機構にスーパーの維持存続を求める申し入れを行いました。93歳の方から「困ります。助けて下さい」と訴えがあり団地を開発した神戸市は積極的にスーパー誘致を進めるよう求めました。

地域住民の願い実現へ **ガンツ!**

歩道の整備次々に

Before (玉津)市住11号棟南東の角



After



Before



After



(玉津)めぐみの郷前歩道

信号機設置を求めて



井吹の丘小学校前

鳩の糞対策、
ネット設置



学園都市駅

学園都市「UNITY」の事業継続を

学園都市駅に隣接したUNITYの協議会(5大学1高専)は、財政問題などで「今年3月末、神戸市に返還し閉館する」と発表しました。利用者さんからは、神戸市に対し事業の継続を求め署名活動や陳情が出されています。

大学相互、大学と市民の交流と地域コミュニティを目的に学生や大学関係者、市民のみなさんが広く利用しています。語学講座や公開講座については、実施場所が足りず困っています。神戸市はUNITYの場所を提供し「貸し館サービス」についても「こども食堂」や「学生への食料支援」など引き続き利用できる様にすべきだと求めました。



市民と要望書を提出する森田たき子議員

井吹東小、長坂小地域の 学童保育の新設を

神戸市内の学童保育は、市のガイドライン基準を超えた児童館が25施設にもおよび、過密状態が深刻になっています。西区の井吹東小学校では総児童数が1000人超えのマンモス化が続き、学童保育はガイドライン基準をはるかに超え、学年別でプレハブ校舎と児童館と地域福祉センターを利用しています。指導員は児童を無事に帰すのみで余裕がありません。また、長坂小学校では、学童保育に2教室と多目的室も使い、のびのびひろばに2教室を使っているため、特別支援学級は教室が足りず、物置を転用しなければ教室を確保できない深刻な状態になっています。森田議員は、子どもたちが安心して学童保育を利用できるように、新たに児童館を建設するよう求めました。



学童保育の実態を聞く森田たき子議員



こども家庭局審査(9月29日)

子どもたちの命を守る こども家庭センターの体制強化を

昨年6月、6歳の幼児が西区の草むらに遺棄されるという痛ましい事件が起こりました。その後、議会で我が会派の質疑に対して、神戸市は「(こども家庭センターの)職員を大幅に増員してきた」「求められる専門知識を十分身につけ、幅広い相談に適切に対応できる体制を確保したい」と答弁しました。森田議員は、児童福祉司も児童心理士も正規職員で配置基準を満たしていないこと、区役所に対応を任せていることを厳しく批判し、こども家庭センターの体制を強化すべきと強く求めました。